

KODANSHA
YOUNG
MAGAZINE
COMICS

追放された錬金術師、

アダルトグッズで

上田 勇 李

「どんなモンスターも
絶対にイカせる男」

世界を救う

1



追放された錬金術師、
アダルトグッズで

世界を救う

～どんなモンスターも絶対にイカせる男～

1

KODANSHA
YOUNG
MAGAZINE
COMICS

上田 勇 李

第7話

175

第6話

161

第5話

143

第4話

123

第3話

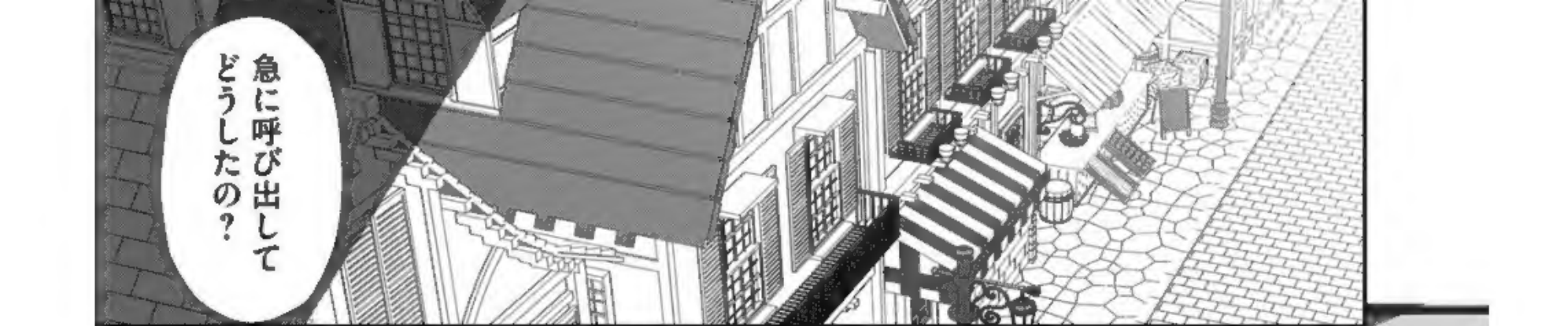
83

第2話


51

第1話

3



急に呼び出して
どうしたの？



オルガ……

第1話



お前は……

クビだ

急に呼び出して
どうしたの？

オルガ……

……

おまえは……

解雇

から始まる

クビだ

ファンタジー
誰も見たことのない幻想。



そ……
そんな！

どういふことだよ

4年間ずっと
一緒に冒険して



ようやく
Aランクに
なれたのに



錬金術師
オルガ＝ズム

確かに
Aランクには
なれたがよ

騎士
フロア＝オーナ

戦士
グランド＝ニー

俺たちが
戦っている間
お前は何をしてた？



錬金術師として

3人の役に立つ
アイテムを作って
……



だがな
オルガ

お前が
作ってきた
のは……




そうだ

確かに
作ってきた

全部
アダルトグッズ
じゃないか！






バツカ
じゃないの

魔法使い
ニュー＝ライン

え!?



それに



私たちは
タダ働きが
欲しかっただけ

な……
何を言って

仲間
ですって?

そんなもの
オナホが
なくなつて

あんた私に
惚^ほれてたんでしょ

残念でした

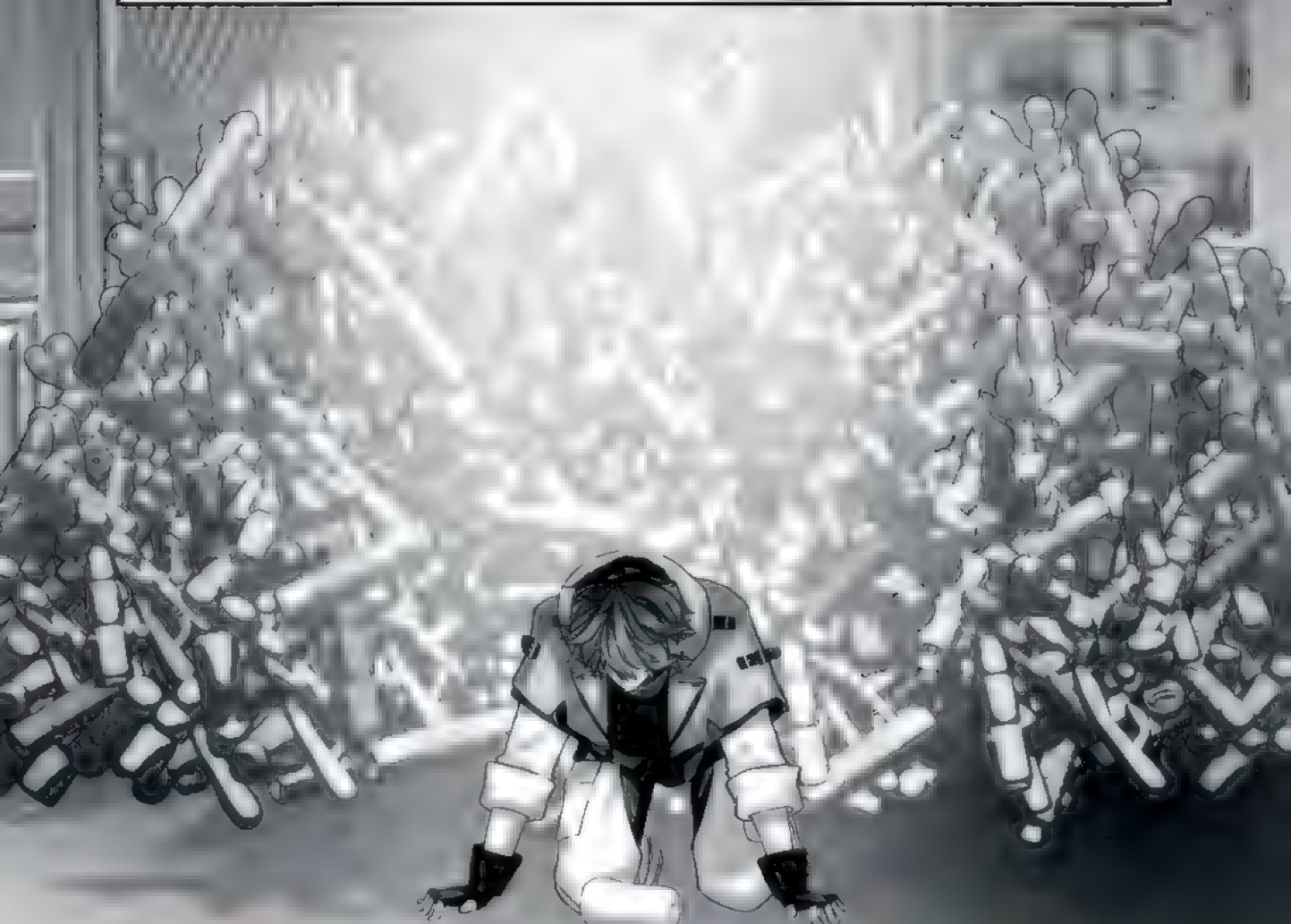
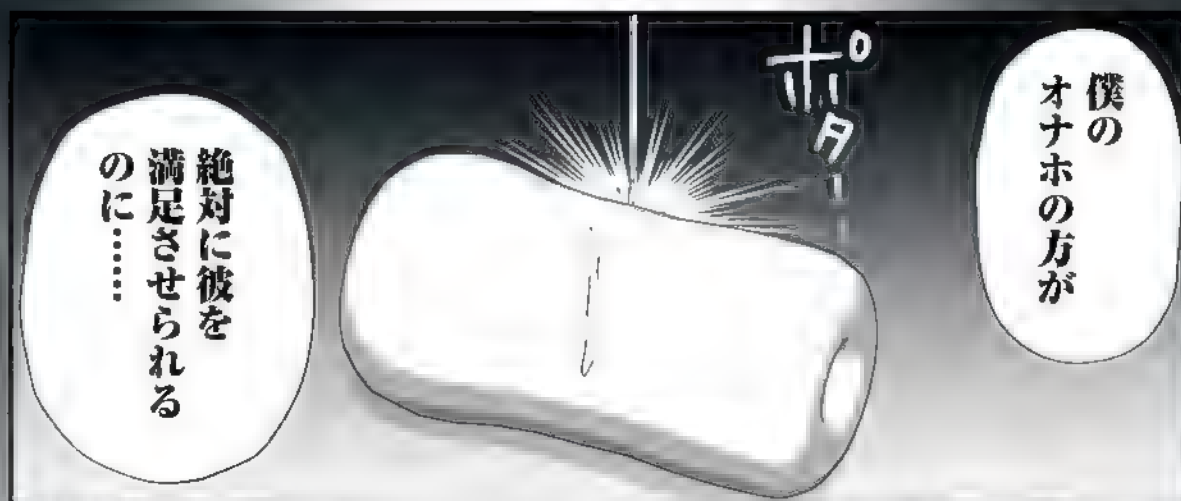
あつ

彼には
私がいるから

じゃあね

くっ
そんなやつ
よりも

僕の方が
僕の方が…



追放された錬金術師、

アダルトグッズで世界を救う

~どんなモンスターも絶対にイカせる男~

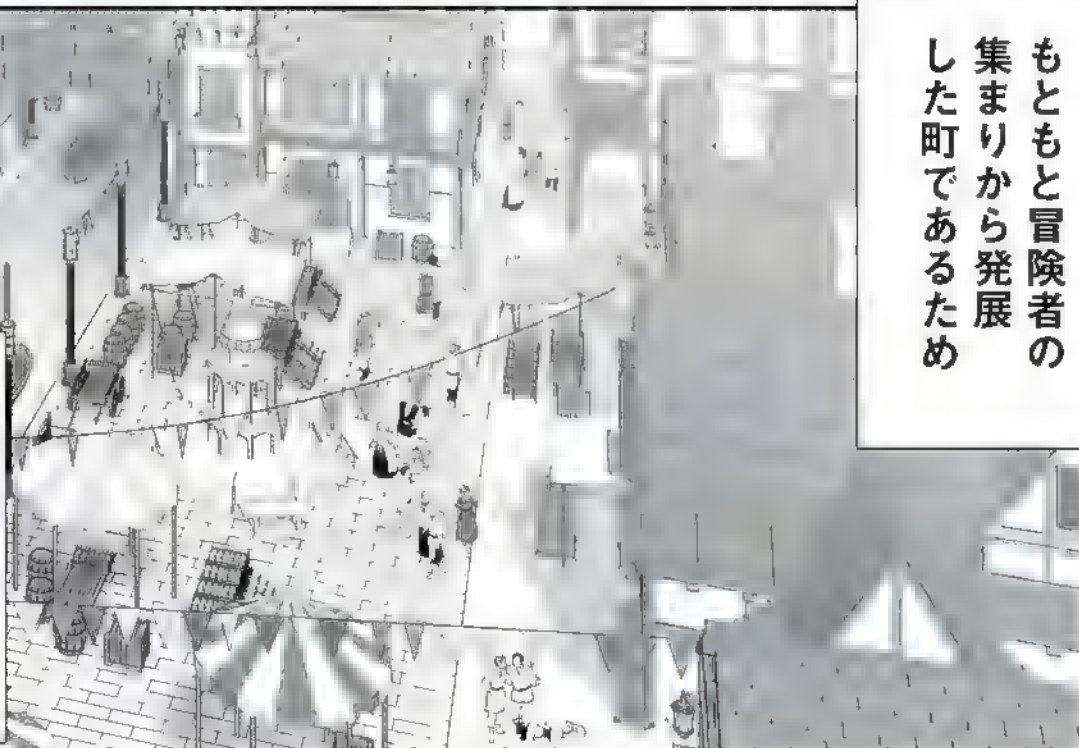
この町
ヴァルフエラは
ムチー大陸北部に
位置する

活気ある
城砦都市だ



もともと冒険者の
集まりから発展
した町であるため

特に冒険者への
待遇が手厚く



各地から多くの
若者が冒険者を
目指し集まって来る



はあ





はい

★ランク早見表★

【特級】SSS,SS,S

災害級のモンスターの討伐
もしくはそれに準ずる依頼を達成した者に
おられる特別なランク。

【上級】A,B

大型の討伐依頼を受けられるようになり、
重要度の高い地域、遺跡への探索が可能となる。
また、最大100万Gまで無利子無担保で
借り入れができるようになる。

【中級】C,D ←

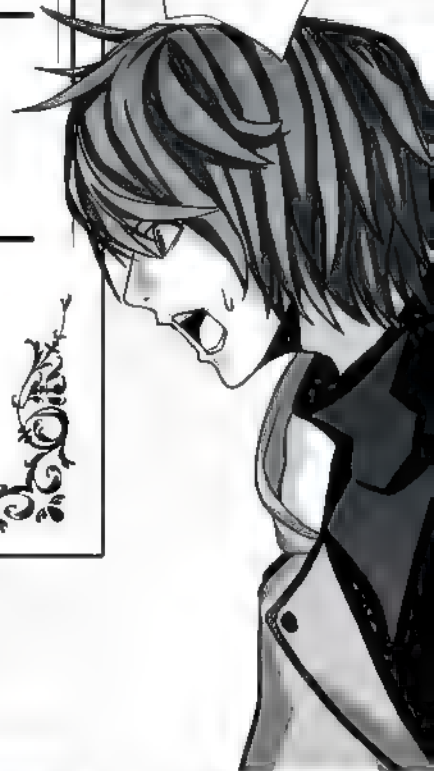
危険度の高い護衛、探索
中型、小型の討伐依頼を受けられるようになる。
また、ギルド提携店の割引を受けられる。

【初級】E,F

危険度の低い地域の採集がメインとなる。
どの冒険者も実績、他ギルドの紹介が
ない限り、Fランクスタートとなる。

僕がDランク
ですか!?

通報を受けたため
降格させて
いただきました



誤解?

証拠も証言も
ありますよ

誤解
なんです!

えっと……
それは

これはギルド規約
違反に該当します

パーティーメンバーに
アダルトグッズを
押し付けていた
と聞きました



フロアは
床オナ常習者
だったので

おしり

おしり

リインは乳首オナの
し過ぎで乳輪が
巨大化してたから

床オナのしすぎで
勃ちにくくなる
前にとオナホを

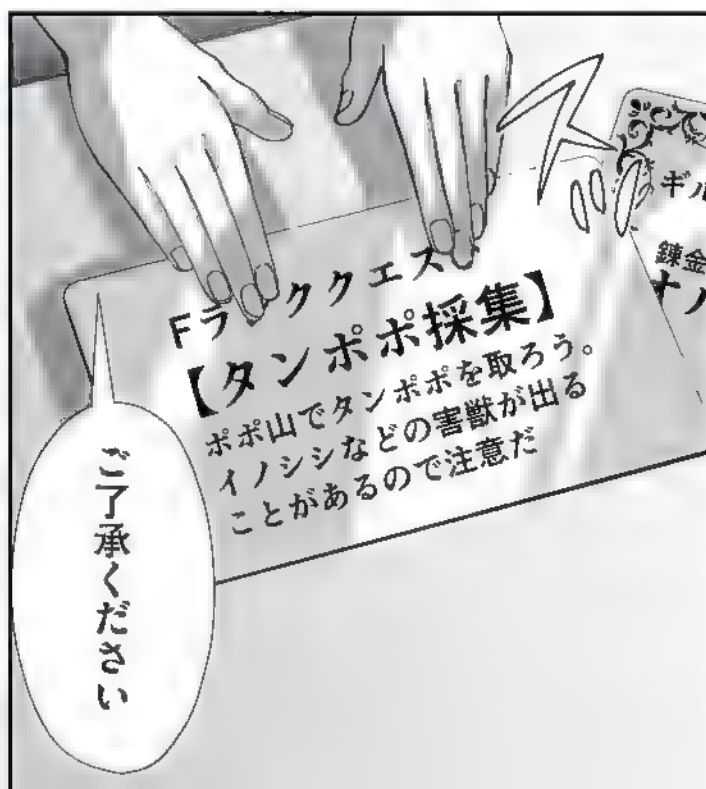
それを防止する
ためにパイプを


receptionist

それぞれ渡した
だけなんです！


仲間を想って
の事なんです！

なるほど







最低の
Fランクまで
落とされるとは



でもあそこまで
仲間に嫌われて
いるとは思
わなかったな

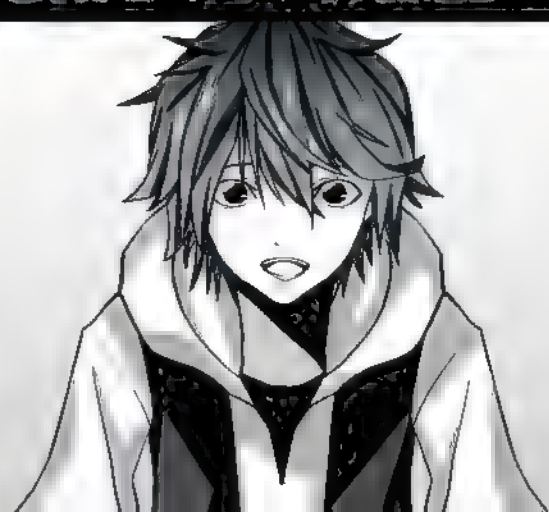


はあ……




僕はいつたい
いつになったら

父さんのような
錬金術師に
なれるんだろう



幼い頃から
僕は


錬金術師の
父さんに
憧れていた



父さんは僕が
生まれてすぐに
行方不明になり

写真でしか
知らなかった
けど

母さんがよく
父さんの英雄譚を
話してくれた




父さんは誰よりも
優秀な錬金術師で

その力でたくさんの
人々を救ってきた
らしい

でも

うわあ！



そんな話を聞いて
僕も父さんのような
錬金術師に
なりたと思った

また失敗だ……

ホ
ッ
ッ
ッ

僕には錬金術の
才能がなかった

剣を作ろうが
盾を作ろうが

出来るのは
ガラクタばかり

はあ……

こんな時に
父さんがいて
くれたらなあ……

グ
ラ
ッ



箱?

いって……

いんく!

おっか

父さんの
ギルドマークが
ついてる
ってことは父さんのか

『それ』を初めて
見た瞬間

僕は完全に
心奪われた

妖艶な輝きを放つ
アダルトグッズ達

美しく
神々しくもある
その光景を

僕は生涯
忘れることは
ないだろう

心奪われた
あの日から

僕はずっと
アダルトグッズを
錬成してきた

でもパーティの
役に立てず

あげく追放

もしかして僕は
間違ってたのかな

ねえ

父さん……





くっ!

なんて

なんて
モンスターだ

Aランクの
男たちが

こんな簡単に
やられて

ズ
ズ

搾^{しば}り取られる
なんて！

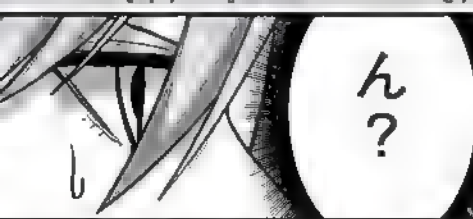


やっぱり
男なんてダメね

全然私を満足
させてくれない

10人以上
搾り取ったのに
まだ満足してない

ん？



あの腹の模様は……



大丈夫ですか!?



あ……

あなたは？
貴方は？

僕は錬金術師
のオルガ

僕が時間を
稼ぐから
早く逃げて



そうだ
僕は錬金術師

カツ

今こそ戦うための
武器を作るんだ！





くそっ！
なんでだ！

アダルトゲッツなら！
アダルトゲッツなら
作れるのに！！

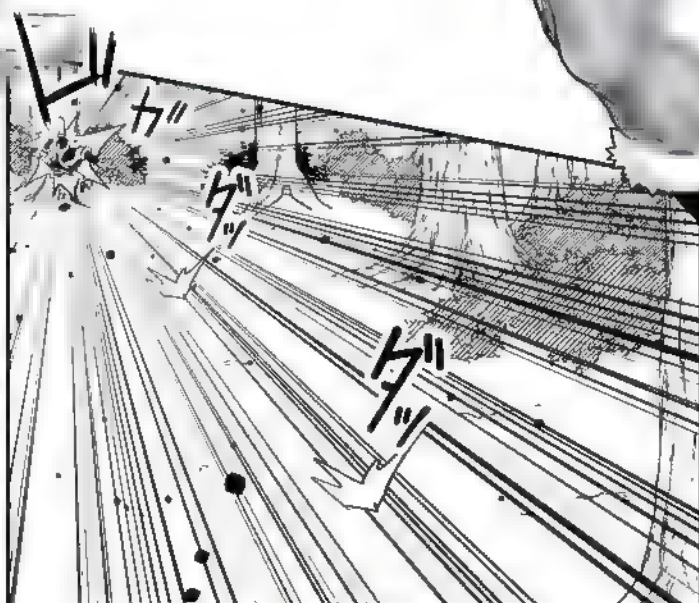


危ない！

ツツ！



！







女同士の方がセックスも
何十倍も気持ちいいのよ

むぎゅ

!?



そんなことしないわよ
私はただ一緒に
気持ちよくなりたいだけ



や...やめろ
辱められる
ぐらいなら

殺せ!

さあ私が新しい
扉を開いてあげる



や……

やめろ……



た

助けて



そうだ僕は

何を
やってるんだ



僕はこの

父さんが
与えてくれた
力を信じる

メスオーク用
バイブレーター

『極太おちんぽ
デカマラたけし』



玩具で遊ぶなら
おうちでママに
遊んでもらいな



ククク……
何をするかと
思えば

そんな玩具を
出すだけ
なんてね



これがただの玩具
じゃないことは
すぐにわかるよ

これを使う
勇気があれば
だけどね



ゴ

ゴ

ゴ

ア

おほおおおお！



18年前
私は稀有な雌の
オークとして
生まれた

そして
生まれてから
ずっと私は

常に無敵だった

モンスターも人間も
歯向かうものは
全て蹴散らした

でもそんな私にも
悩みがあった

気が付けば私は
『オーククイーン』
と呼ばれるようになり

全てのオークが
私に付き従った

それは



どんな男のチンコも
小さすぎたことだ

どうだ
俺の巨根は！

もっと
締め付けて
こいよお！

様々な種族の
チンコを試したが
ダメだった

それじゃあ
お言葉に甘えて

それどころか

!?

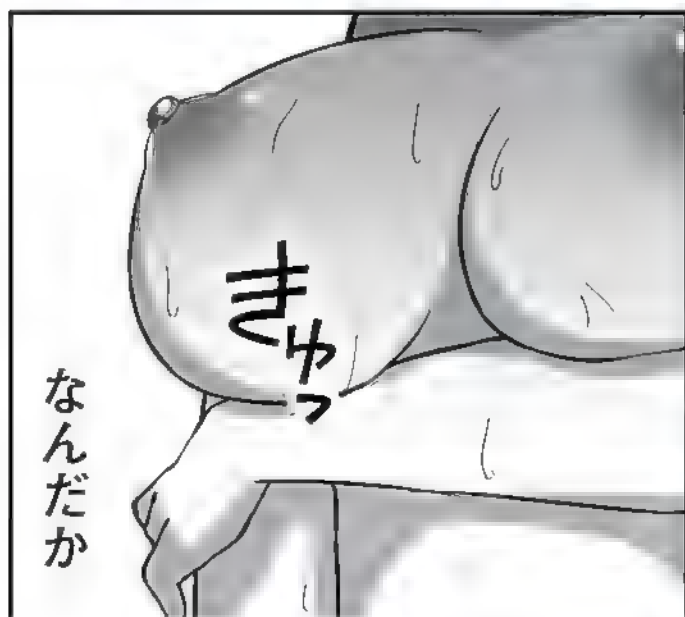
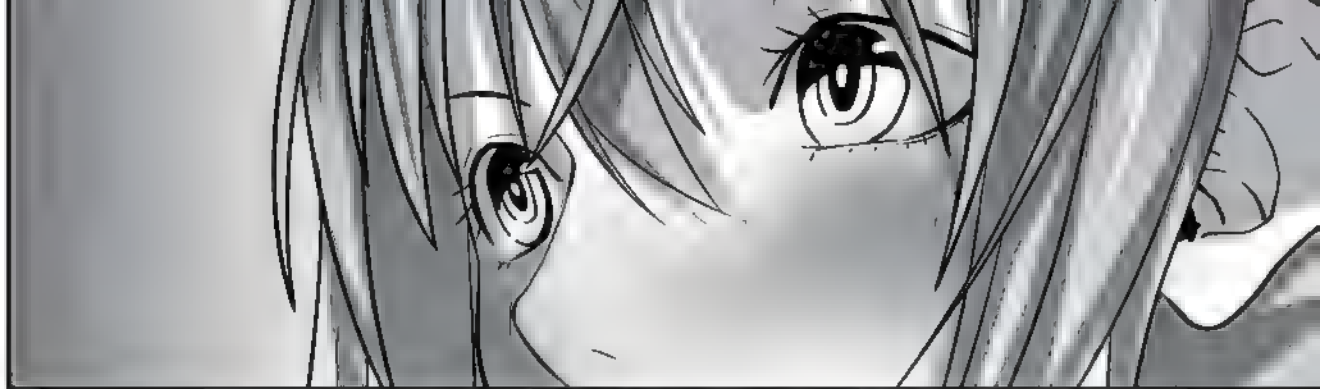
ギョウ

ち……
ちんこが
はじけ飛ぶう！

はあ

少し膣ちんこに力を
入れただけで
悲鳴を上げる有様だ





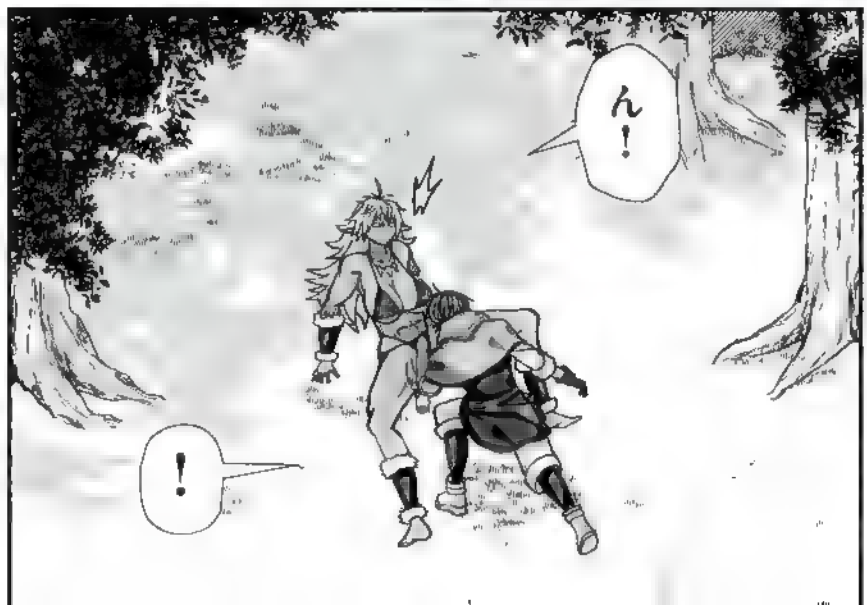
なんだか私も

あーっ

あーっ

あーっ

エッチな気持ちに



昇天^イけ...!

[illegible]

イッぢやううううううッッッ！



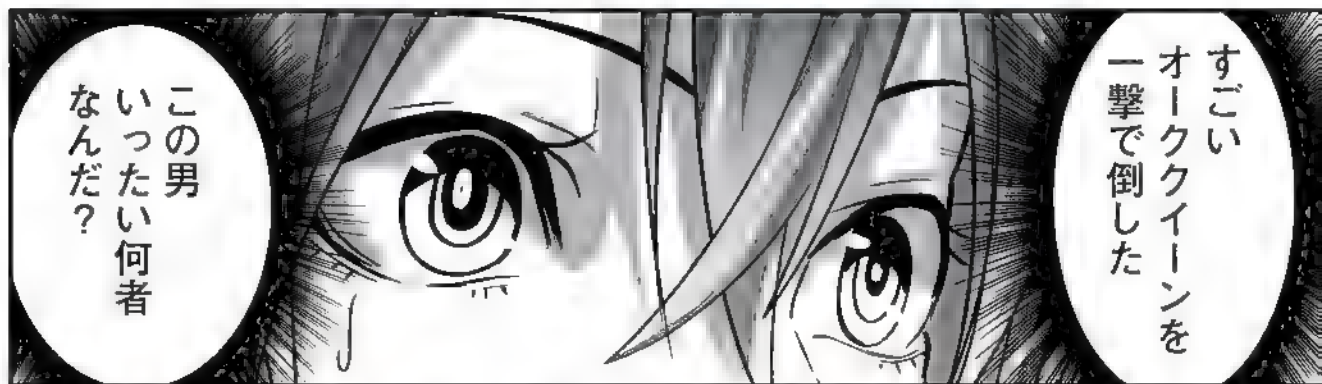
淫紋^{いんもん}が消えた……？

いったい
何だったんだ？



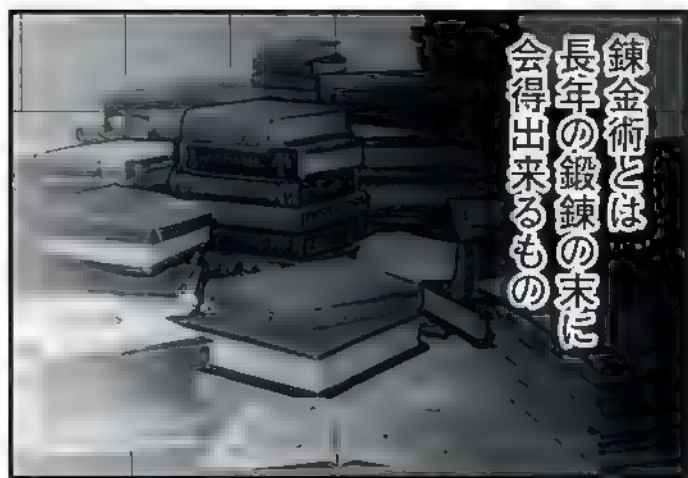
すごい
オーククイーンを
一撃で倒した

この男
いったい何者
なんだ？



私も
一級の錬金術師を
多々見てきたが

人肌で複雑なものを
瞬時に錬成する
術者など
見たことがない



錬金術とは
長年の鍛錬の末に
会得出来るもの

だとしたら



私とパーティを
組んでくれないか？

え！

いや……
でも

躊躇する
気持ちもわかる

だがこれでも
冒険者の
はしくれだ

こうして
ギルドカードも
所持しているしな

騎士として
恥ずかしいところを
見せてしまったからな

今も人として
恥ずかしいところを
見せてる気が……



家を襲う
ドラゴン

性欲龍

ハウス・セックス・ドラゴン





僕が必ず

ドラゴンの
精子を

しぼ
搾り取って
みせます！

こうして私と
オルガは出会った

あ……
ありがとう

でもまだ
この時は
知らなかった

この出会いが
まさか

世界の
命運を決める

想像を犯した^{超えた}ファンタジー、開張^{始まる}。

セックス・ウォー・オブ・ジ・エンド
『終焉の性戦』の
引き金になるなんて

次回、エロスカリバー解放。



さっそくギルドに
パーティ申請に
行きましょう

はい



えーっと
町の方角は

!?

怪物は消え、パイオワが残った。



ちょ……！
ちよっと
待ってください

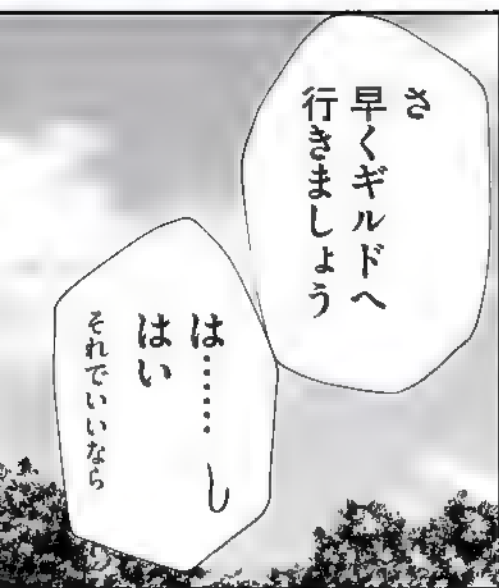
今錬金術で
服を作ります

あ

いつまでも女性に
そんな格好は
させられないので

オルガ……





代々王家に仕える
名門貴族コロツセ家

その次期当主の
クウロコロツセ

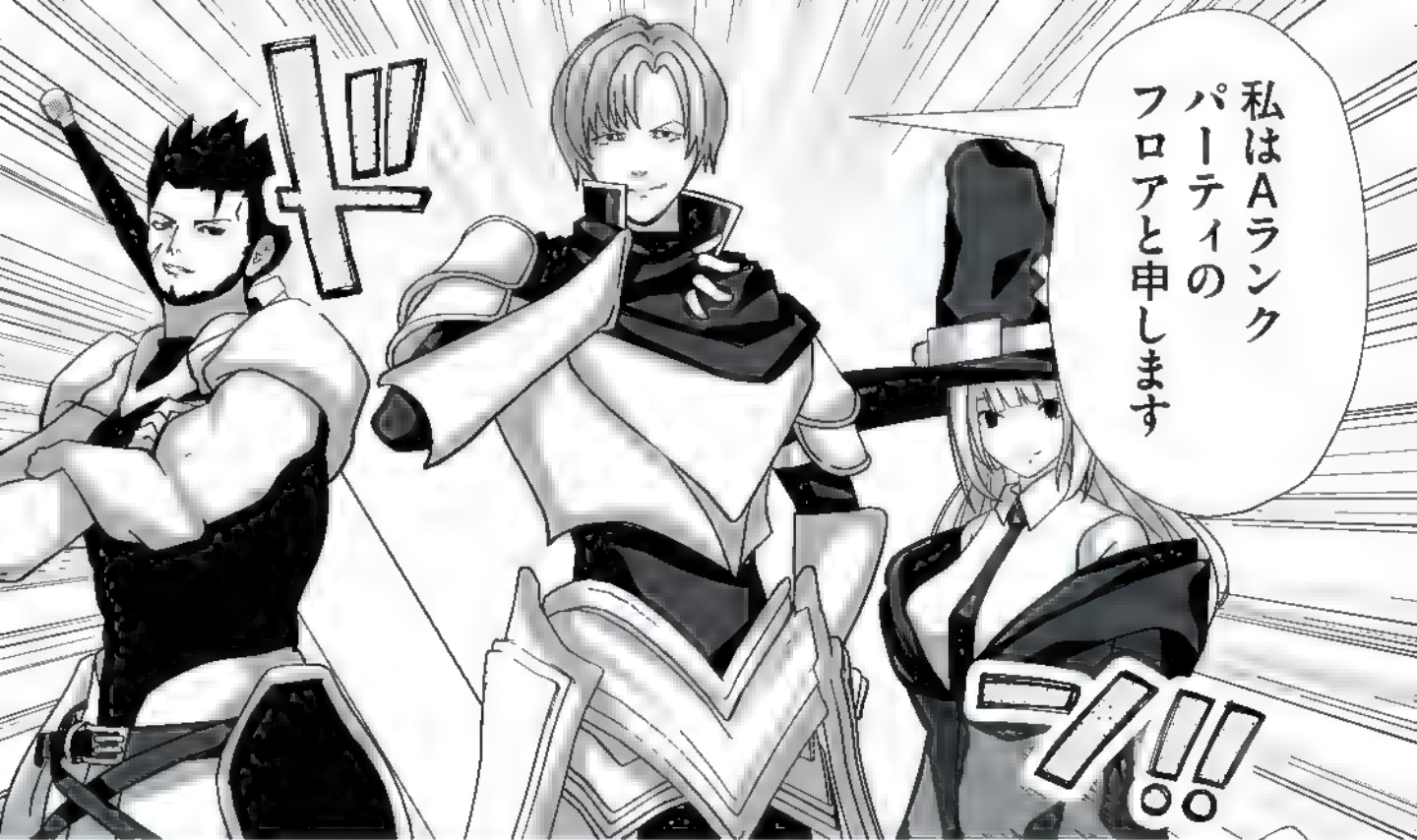
単独でSランク
クエストも
軽々とこなし

誰ともパーティを
組まない
美しき女騎士



お会いできて
光栄です





私はAランク
パーティの
フロアと申します



我々のパーティに
入りませんか？



げ！

前の仲間
たちだ

……
何か？

フッ



相変わらず
すごい自信だな

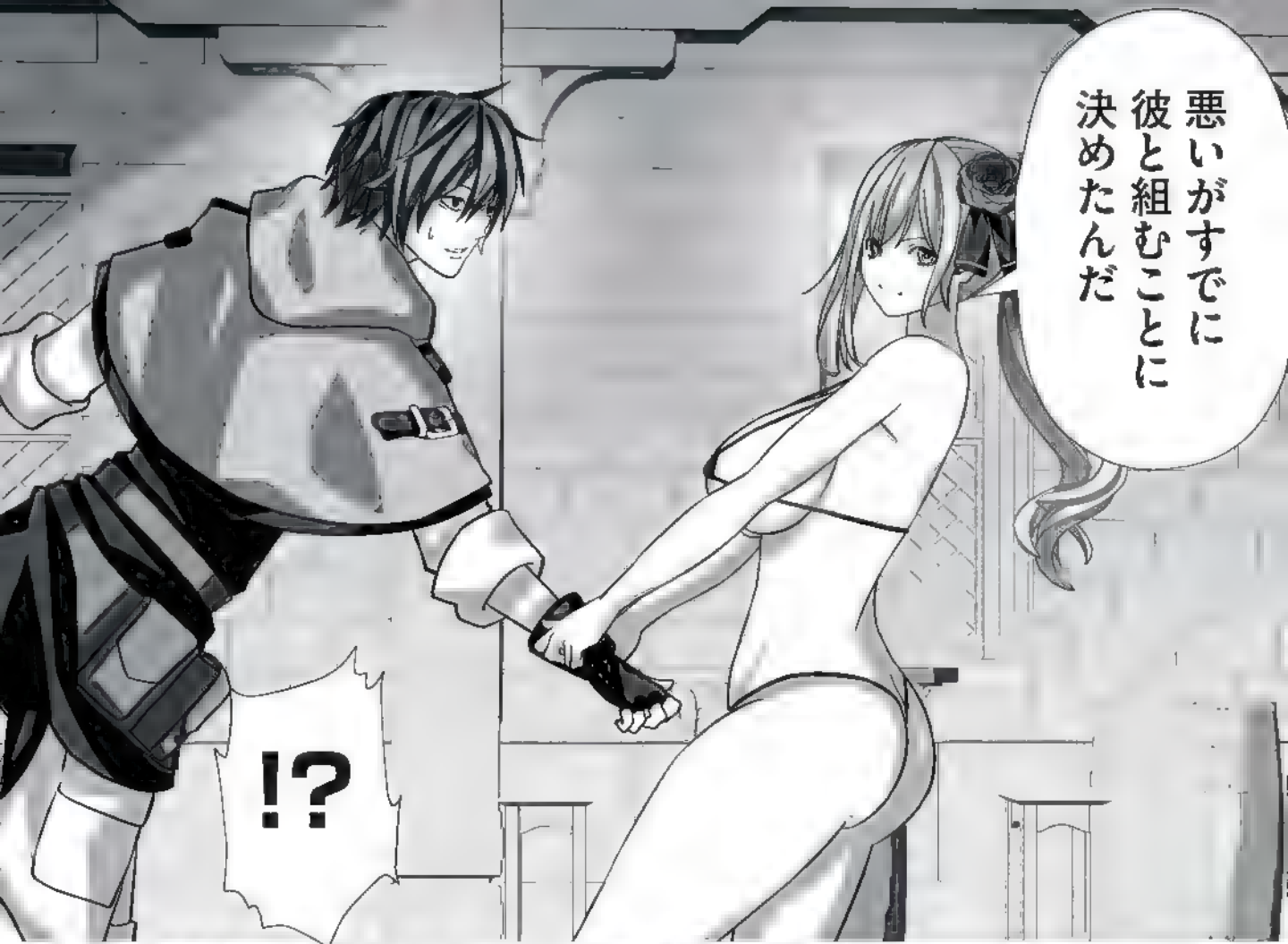
なるほど



我々はすでに
Sランクも目前

それに

美しい貴女には
美しい私が
ふさわしい



悪いがすでに
彼と組むことに
決めたんだ

!?



そいつは
アダルトグッズ
しか作れない

無能
錬金術師だぞ



お……
オルガ
だと……?

ええ

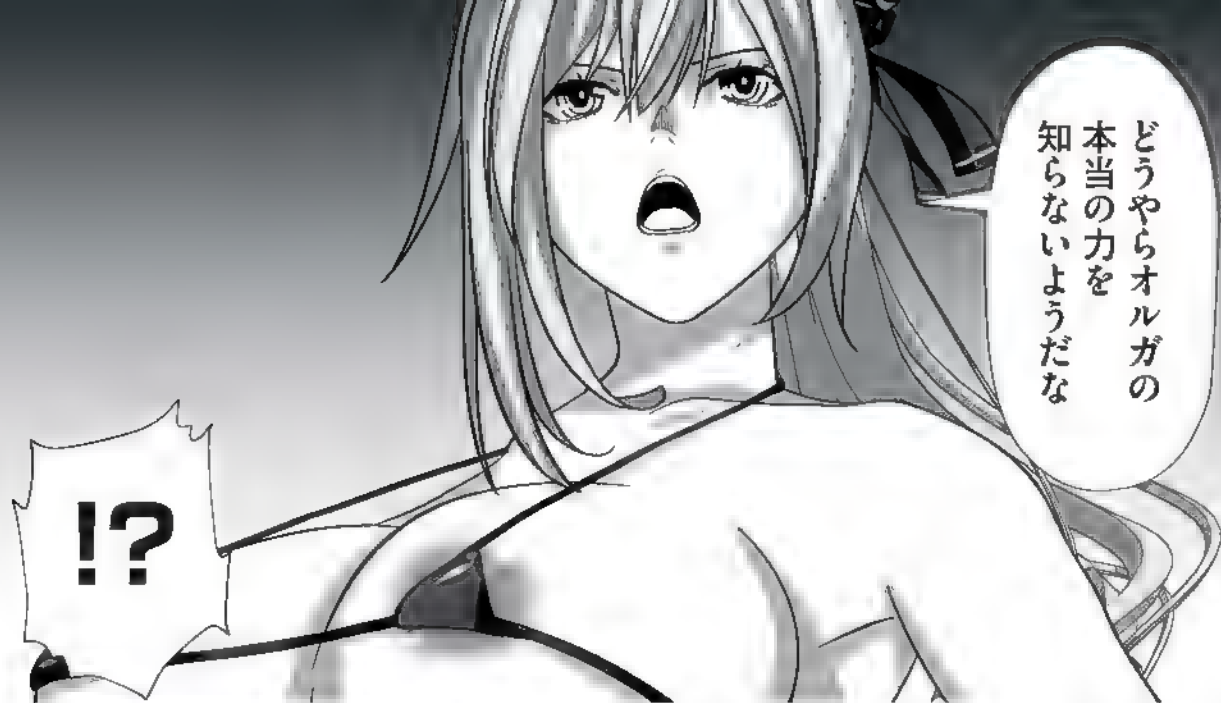
なんで
そんな奴と
一緒に……



無能?

聞き捨て
ならないな

何?



どうやらオルガの
本当の力を
知らないようだな

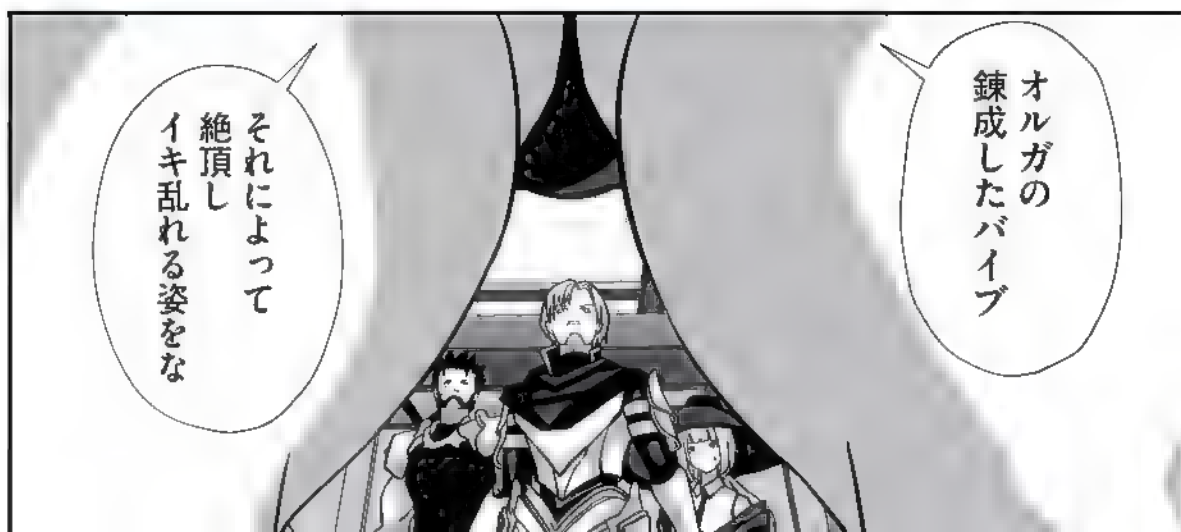
!?



本当の力
……だと？

ああそうだ

貴様らにも
みせて
やりたかったよ



オルガの
錬成したバイブ

それによって
絶頂し
イキ乱れる姿をな



イキ乱れる!?





クウでいい
それに敬語も
なし

私たちはもう
パーティーでしょ？

コロッセさん



……クウ
本当に僕と
組んでよかったの？

僕より
彼らの方が

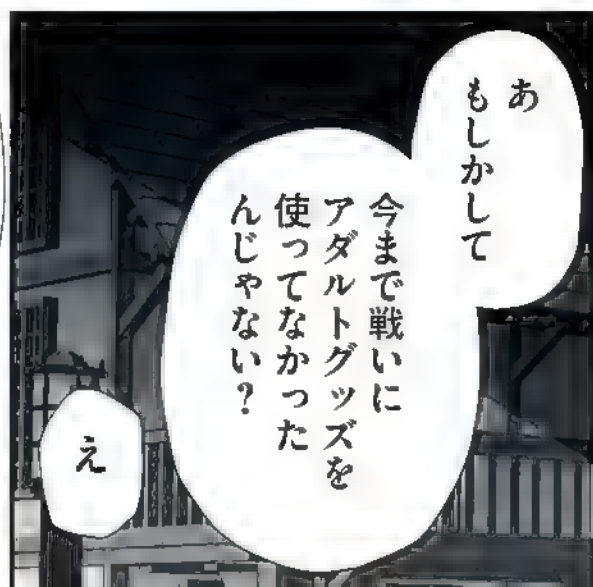
まったく

オルガまで
自分の力を
疑うの？



それは
そうだけど
普通使わないでしょ

やっぱりね
なら……



あ
もしかして

今まで戦いに
アダルトグッズを
使ってなかった
んじゃない？

え

オルガが
本気になれば
誰もかなわない

自信を持って！

はあ

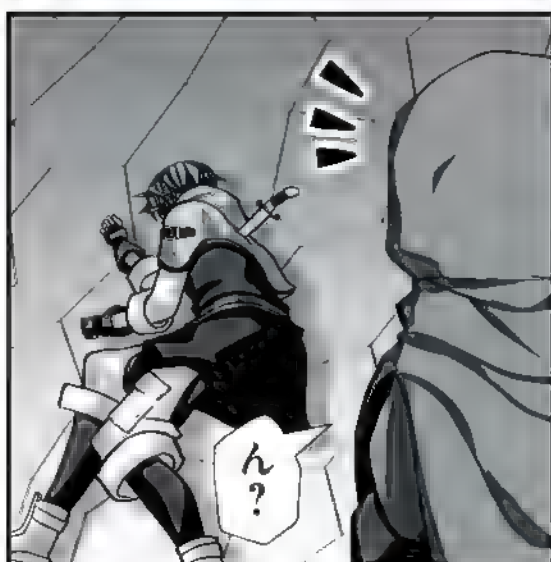
自信を持って
なんて言われ
てもなあ……

それじゃあ
また明日

……うん

うーん……

オークはたまたま
倒せたけど





これは……

ダッチワイフ!



い……
izzの間に



フロア！
とギルドの人たち

むかつくヤツだ
俺の邪魔ばかり
しやがって

邪魔？
どういふこと？

昨晚
のことだ

いつものように俺は
ラインとセックス
しようとした

だが
信じられない
ことに

俺の剣はまったく
勃^たたなかった！

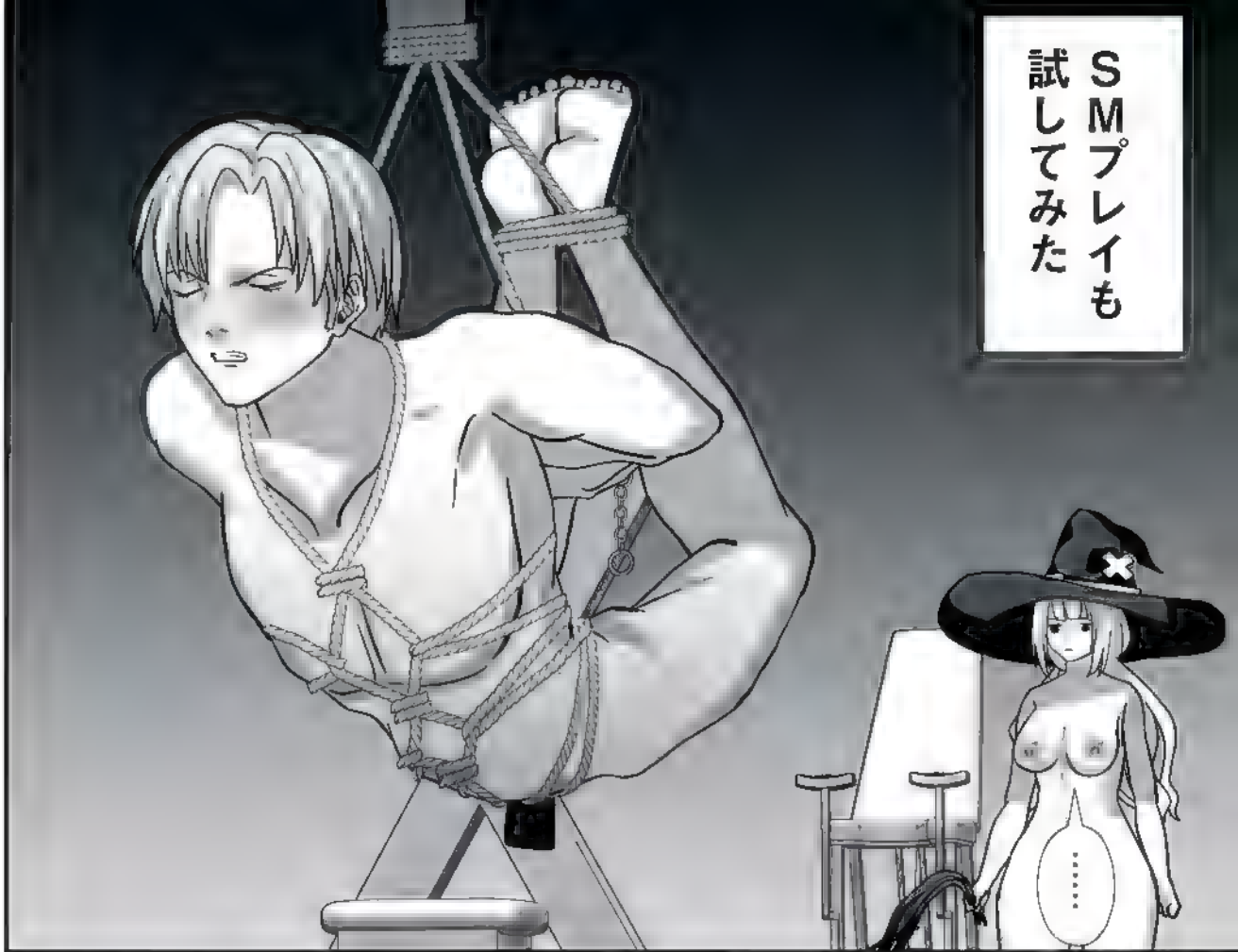
だが俺は
あきらめず

フェラ

パイズリ

そしてさらには
もっとハードな

S Mプレイも
試してみた



だがそれでも

俺の剣は
奮^{ふる}い立たなかった



結局



ラインに
憐れむような目で
見られただけ
だった



逆だと?

うん

いつもギンギンに
勃起してたのは



追放された腹いせに
俺に何かしやがった
んだろう!

え!?

ぎや
逆だよ!

僕がセックス前の
食事に

精力剤
『性剣エロスカリバー』を
混ぜてたからだよ

!?

そもそも
床オナのせいで
勃ちにくくなつて…

嘘をつくな！

アダルトグッズで
何かしたんだろう！

そうだ
あのクウだつて
そうなんだろう

じゃないと
お前と組む
なんてありえない

Sランクとはいえ
所詮女だからな

墮^おとすのなんて
簡単だっただろうさ

そんなこと

Sランクってのも
体で手に入れた
んじゃないか

それならそれで
楽しめるから
いいけどな

せっかくだから
俺たち全員の相手も
してもらおうか

そういうわけだ

おとなしく
あのビッチから
手を引くなら



黙れ



オルガが
本気になれば
誰もかなわない



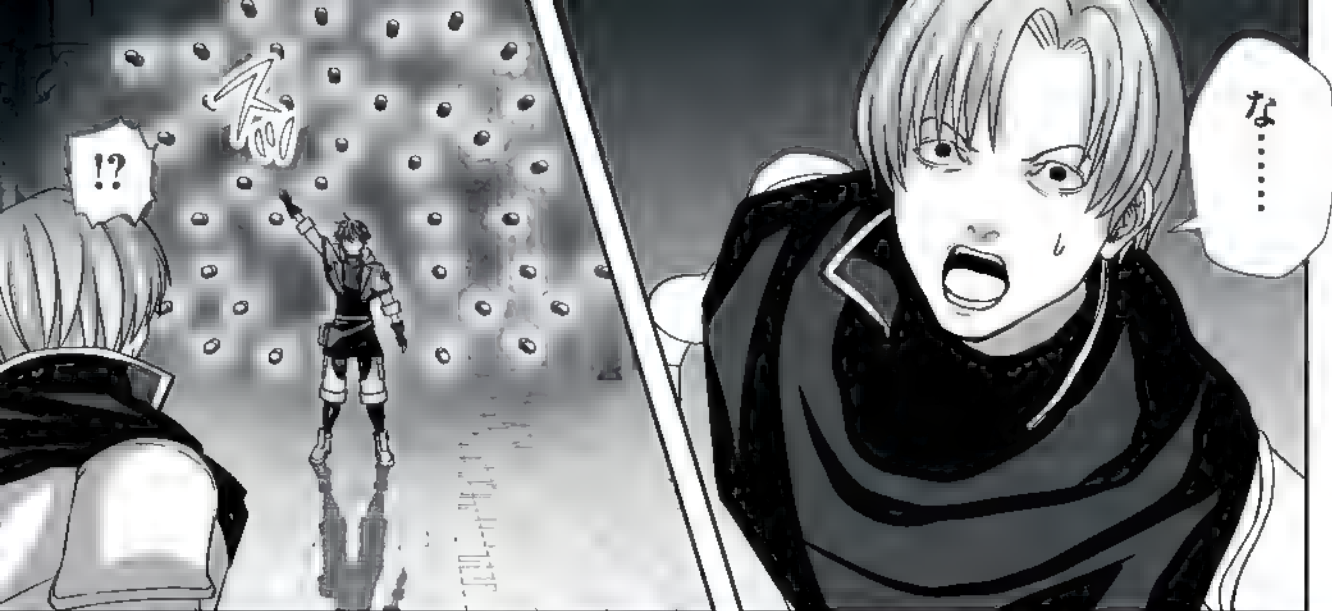
クウはただ純粹に
僕を信用して
くれたんだ

こんな風に
言われるのは
許せない

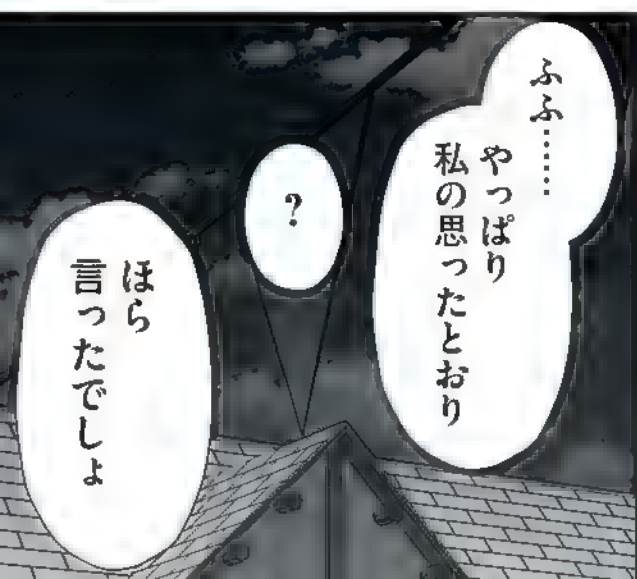




アンリミテッド・パイプレーションズ
『無限電動小芥子』







オルガが
本気になれば





誰も
かなわないって

翌日

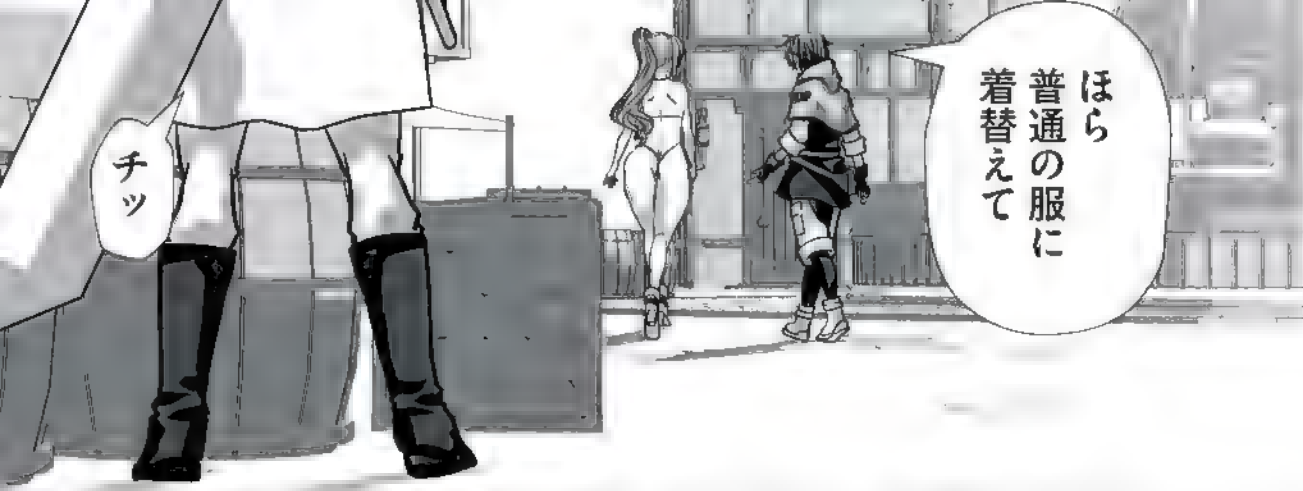
それじゃあ
村に向かい
ましようか

ちよつと
待って

ん？

流石^{さすが}に
マイクロビキニで
帰郷するのは
まずいって
し

そうか？



ほら
普通の服に
着替えて

チツ



なんでまだあいつが
生きてるんだよ

それにクロッセと
組んで行っちゃった
じゃない

.....



オルガのやつ
調子に乗りやがって

本当にムカつくヤツだ
ムカつくヤツ



本当に役立たず
いや役立たずね

うるせえよ



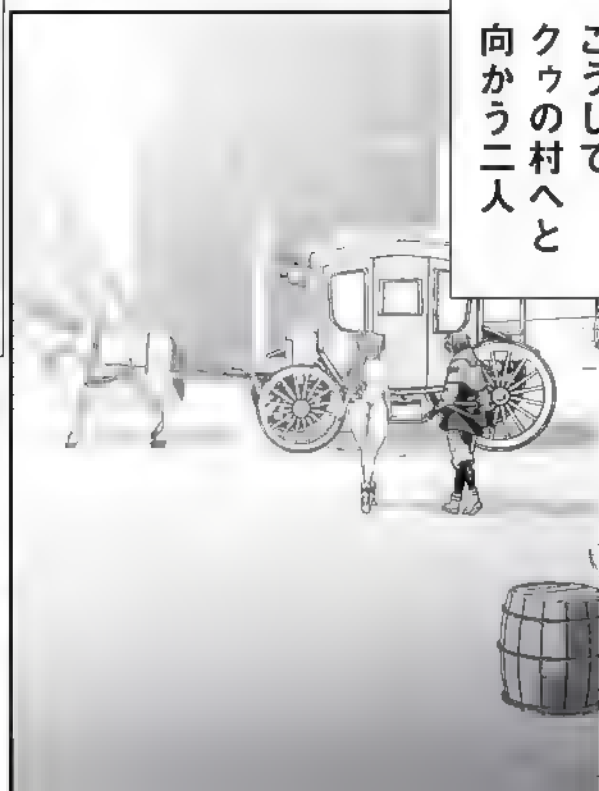
そのはずなのに
何なんだ

この気持ちは

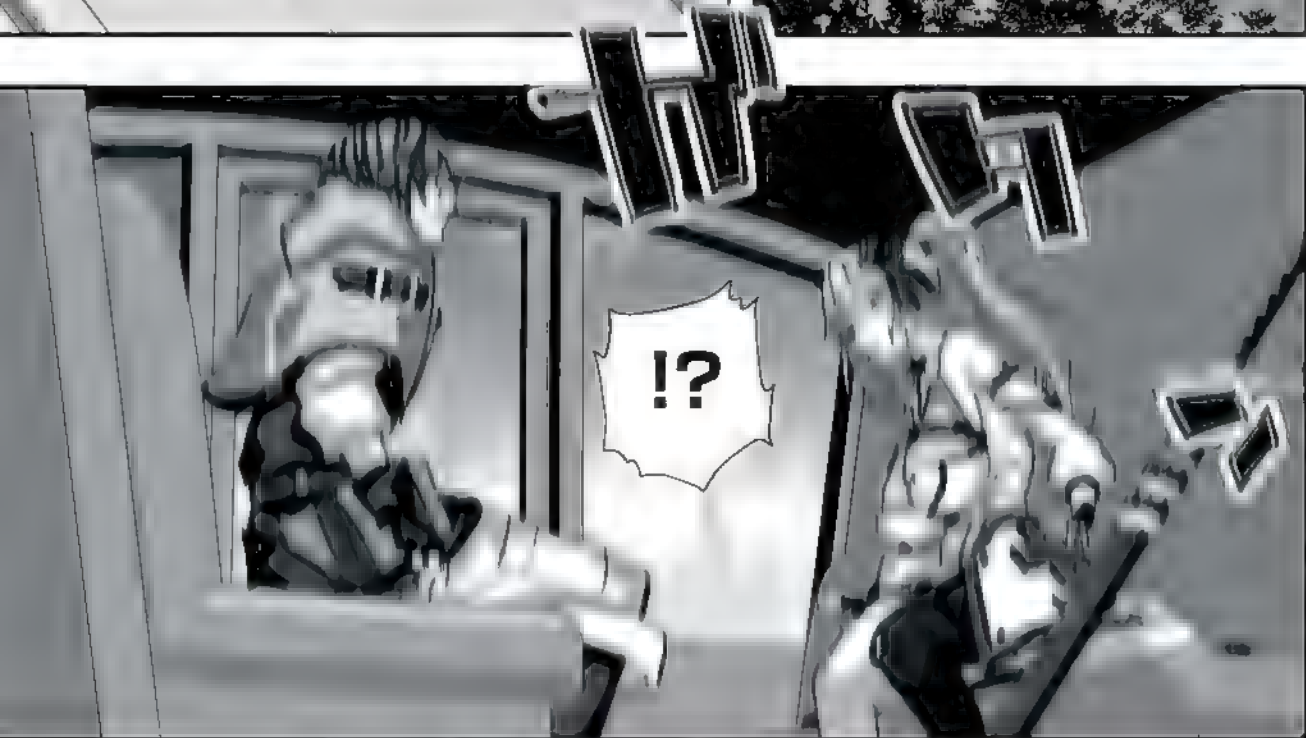


村へは馬車で
1日と約6時間半

平坦で美しい
森を抜けた先に
その村はある



こうして
クウの村へと
向かう二人



このイカ臭さは

精液の匂い！

まずい！

またドラゴンが
村を襲っている
かもしれない！

処女家は、
残っているか。

クッ！

早く村へ
向かわねば！

次回、ハウスセックスドラゴン鳴動。





村長！

ト
ロ
オ
♡



そちらの
方は？

彼はオルガ



クウの村

助かったよ
クウ

村長が無事で
本当によかった



ドラゴンを
倒すために
来てもらった

助っ人よ



ドラゴンを
倒す……？

し……
しかしクウが
言うのだから

……



おい
あんちゃん

はい

やつはクウや
Aクラスパーティ
でも倒せなかった
化け物だ

いや
倒せない
どころか



どんな攻撃も
やつにとっては
性的快感なんだ

はあ

はあ



クウに何を
吹き込んだか
知らねえがな

あっ

おっ



俺たちが
何をやろうか

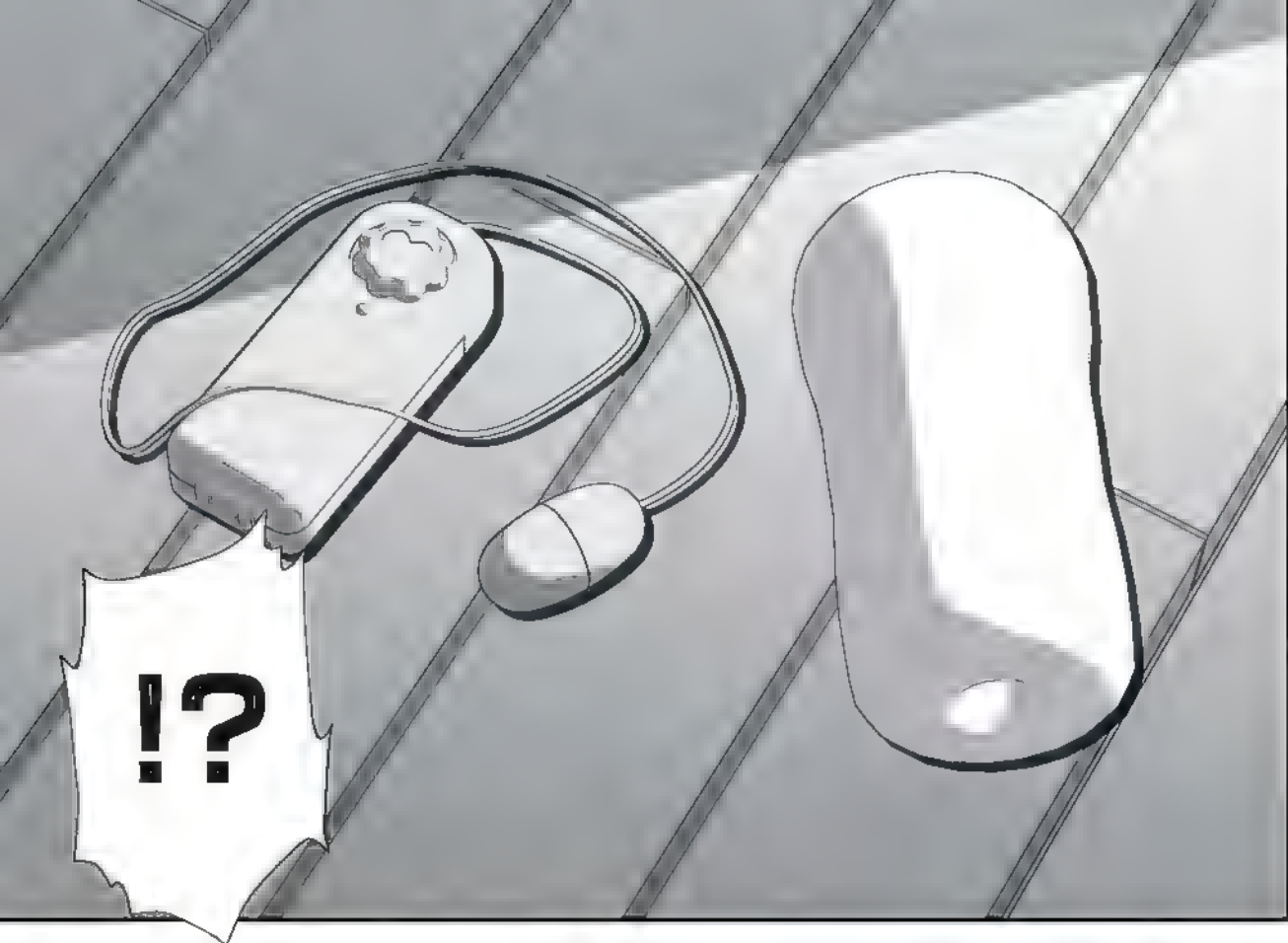
やつのオナニーに
新しい刺激を
加えるだけだ



小僧一人で
何が……

ゴト

ん？



魔が災いをもたらす時
性具を持つ若者が現れ
大いなる魔をよがらせ
絶頂の渦へと
導くであろう



それは村に
代々伝わる
伝承……！

まさか
こいつが
伝説の……



今夜はもう
ドラゴンが
現れぬだろう

わしの家に
泊まって
いきなさい



この者になら
任せられる
かもしれぬ

村長……

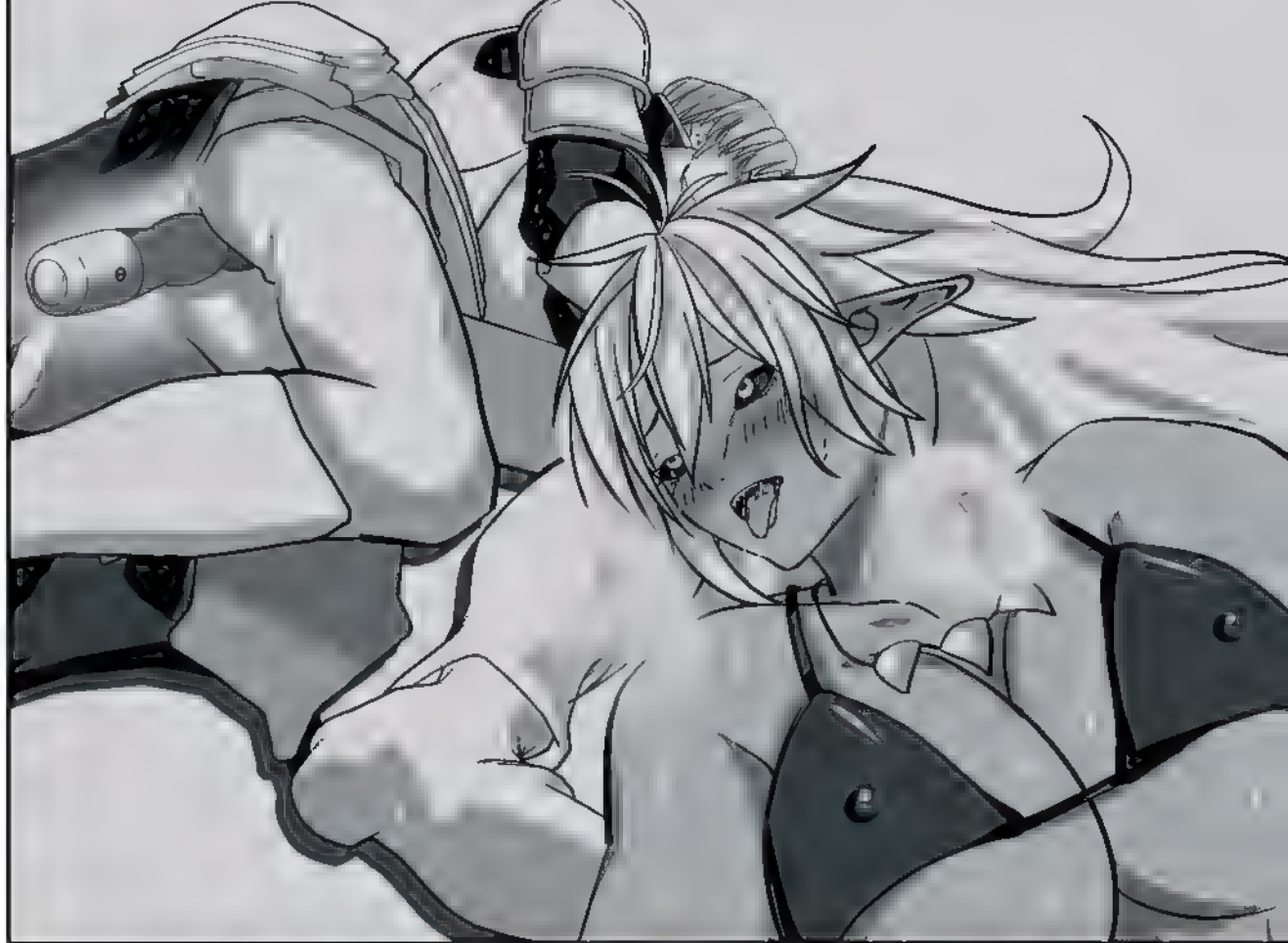
ふう

まさかオルガが
伝説の人だったなんて

あの戦いぶりからして
ただ者ではないとは
思っただけだが

あの

戦い







!?

クウ!?

音が気になって
来てみたら
まさか水浴びを
してたなんて


いや私こそ
背後を簡単に
取られるなんて

騎士として
集中力に
かけていた

本ツツツツッ當に
ごめんッ！

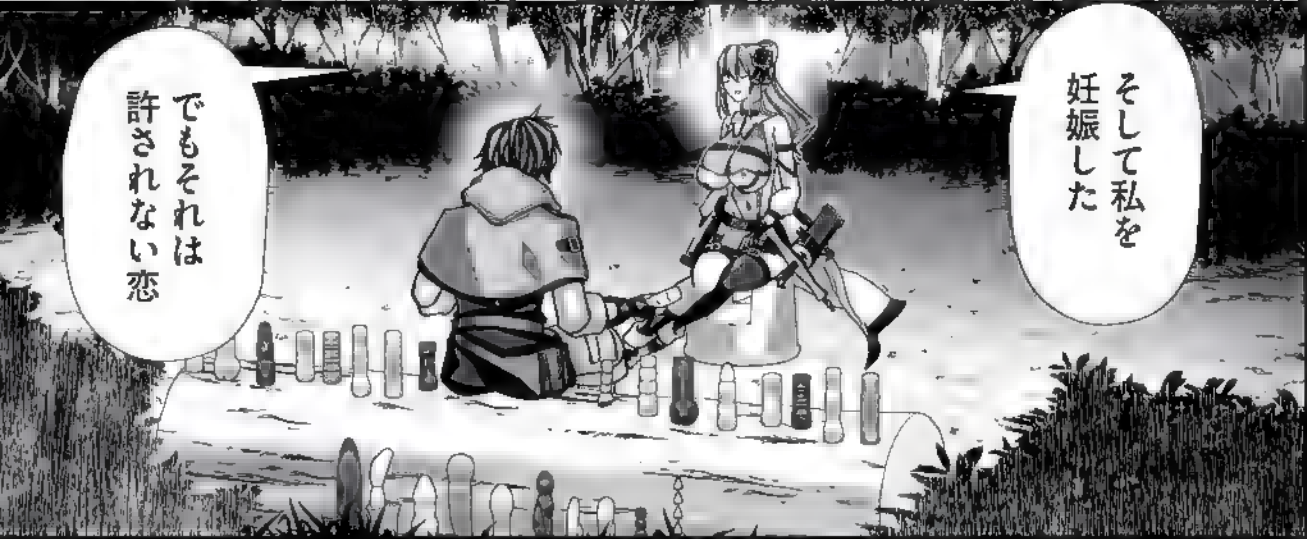







私の母は
名門貴族コロッセ家の
メイドだった

でもメイド
でありながら
母は当主と
恋に落ちたの



そして私を
妊娠した

でもそれは
許されない恋




城を追い出された
身寄りのない母と私

でもそんな私たちを
この村の人たちは
受け入れてくれた

ってごめんね

急にこんな
話して


.....



あのドラゴンの
ザーメン……


?

だけど



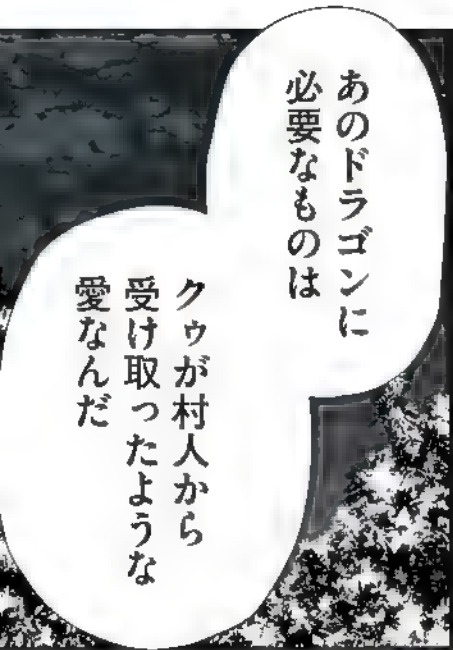
やつのザーメンは
粘り^{ねば}気^けがあり

それでいて
驚くほど
濃^こかった




それ以上に
やつのザーマン
からは

孤独が
伝わって来た



あのドラゴンに
必要なものは

クウが村人から
受け取ったような
愛なんだ



クウを優しく
包んでくれた
この村のように

僕がドラゴンを
オナホで優しく
包み込むよ



オルガ……



今朝射精したばかりだつていうのに

やつは男子中学生だよ！

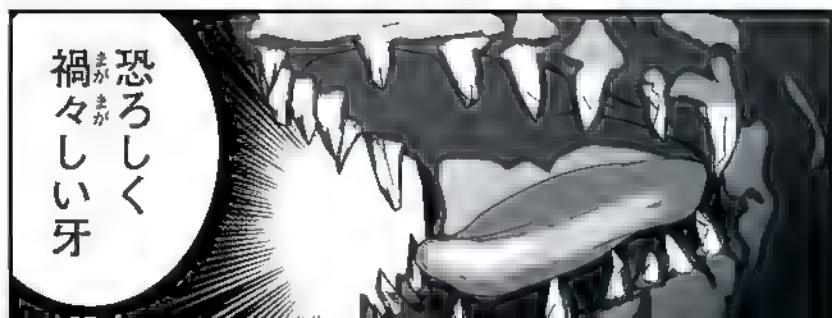
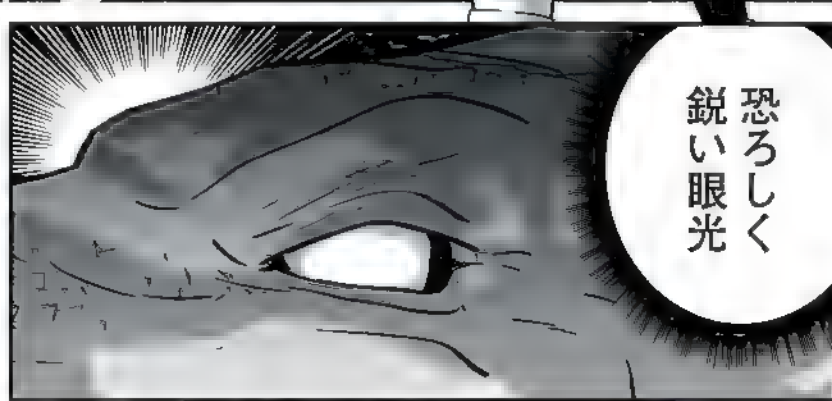


どろおくー♡



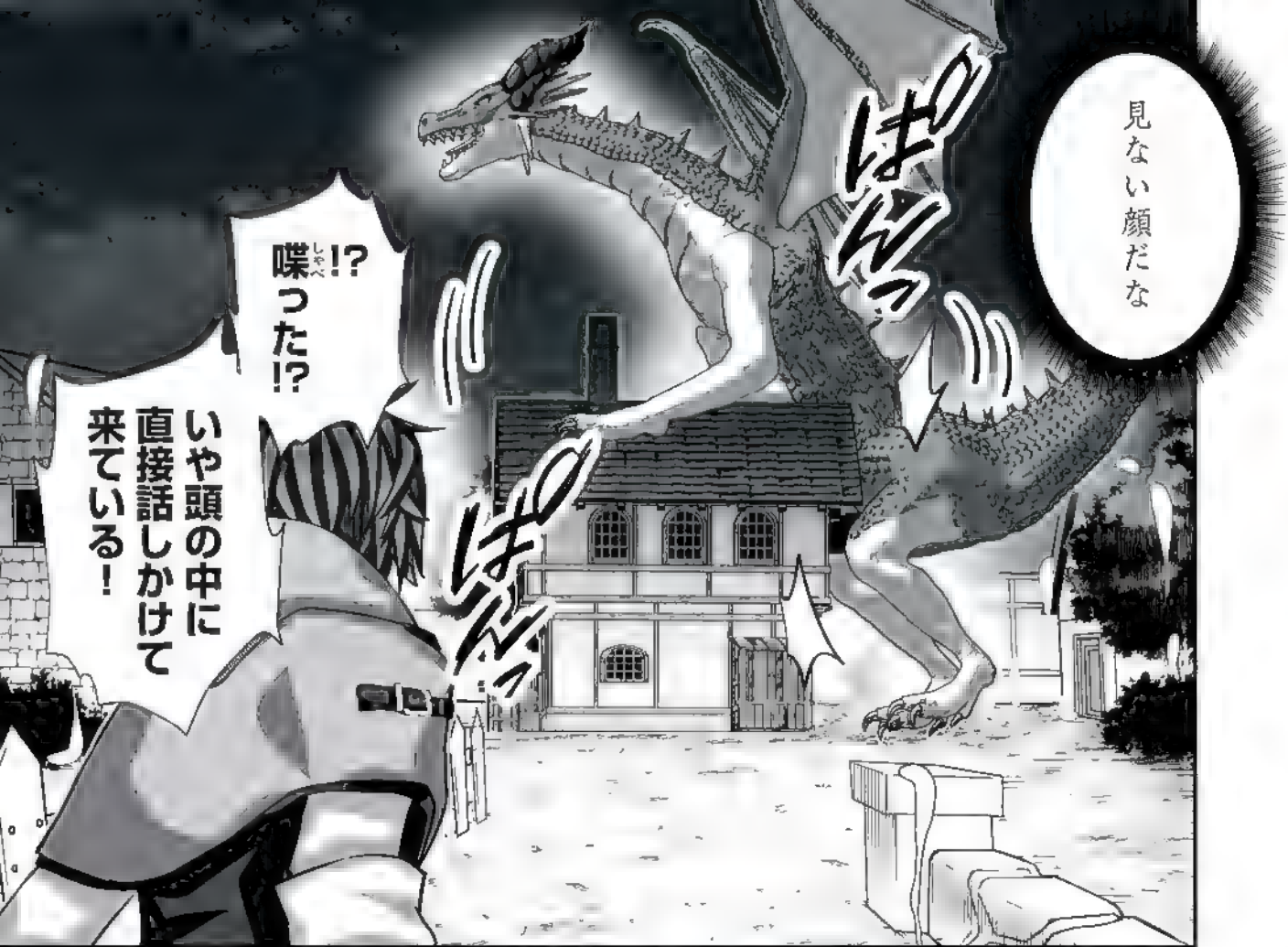
これはひどい……

オルガあれ！



恐ろしく
右曲がり





見ない顔だな

喋った!?
喋った!?

いや頭の中に
直接話しかけて
来ている!



まずい!

?

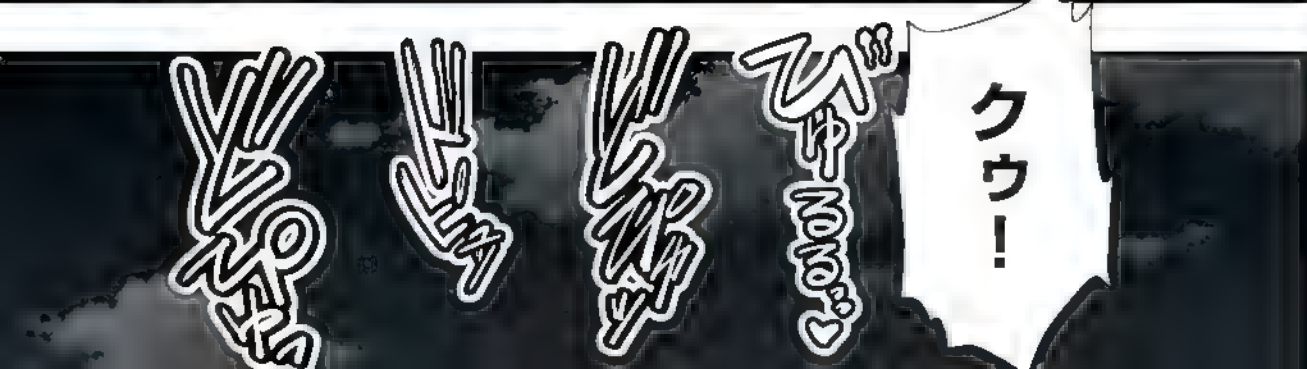
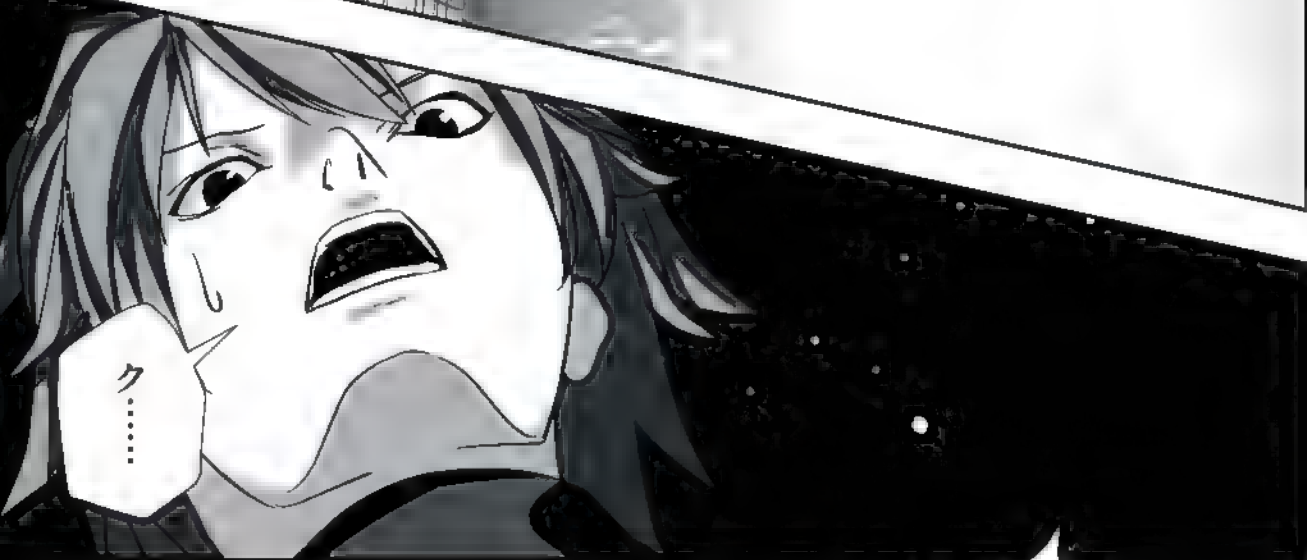


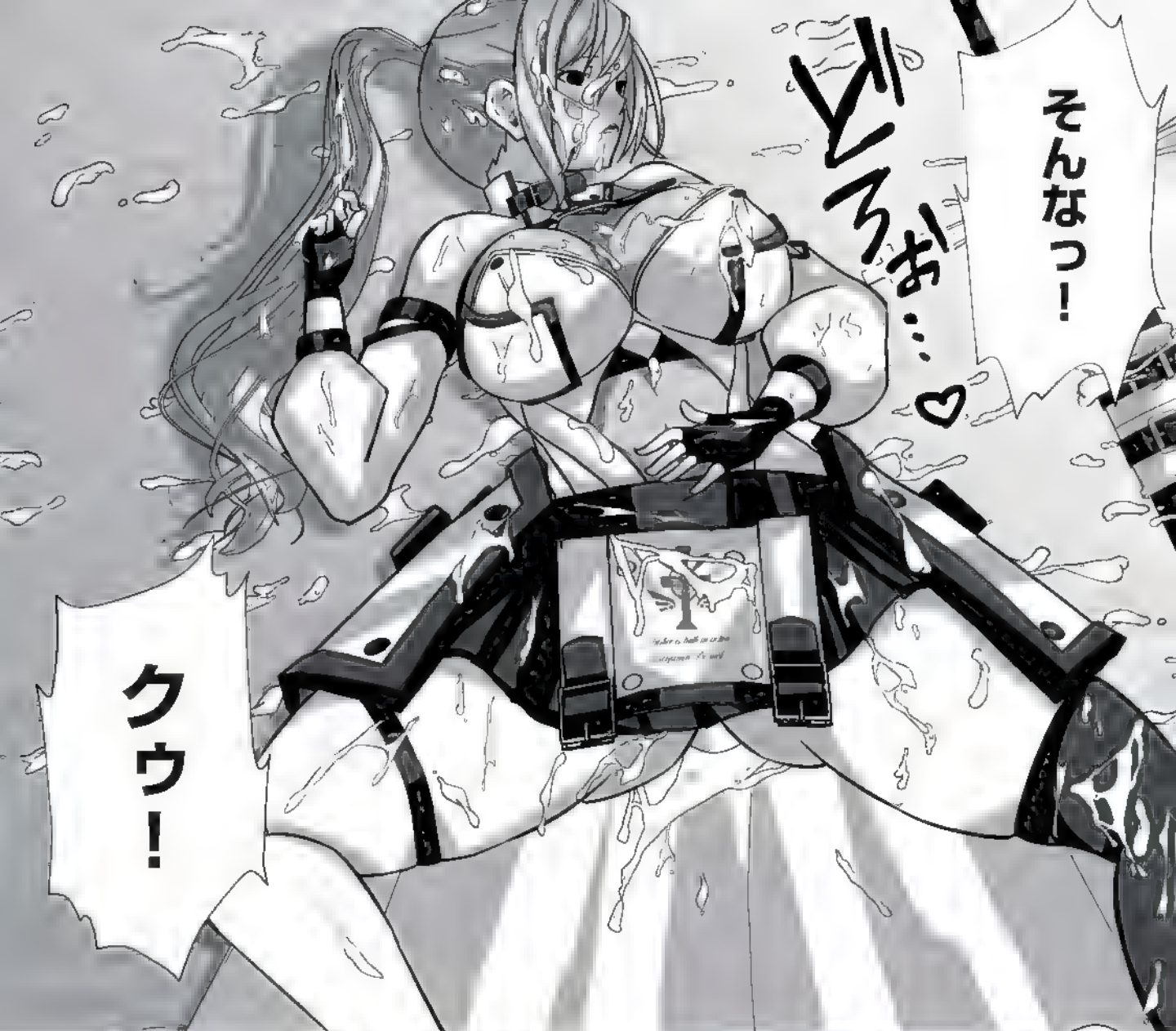
ウツ

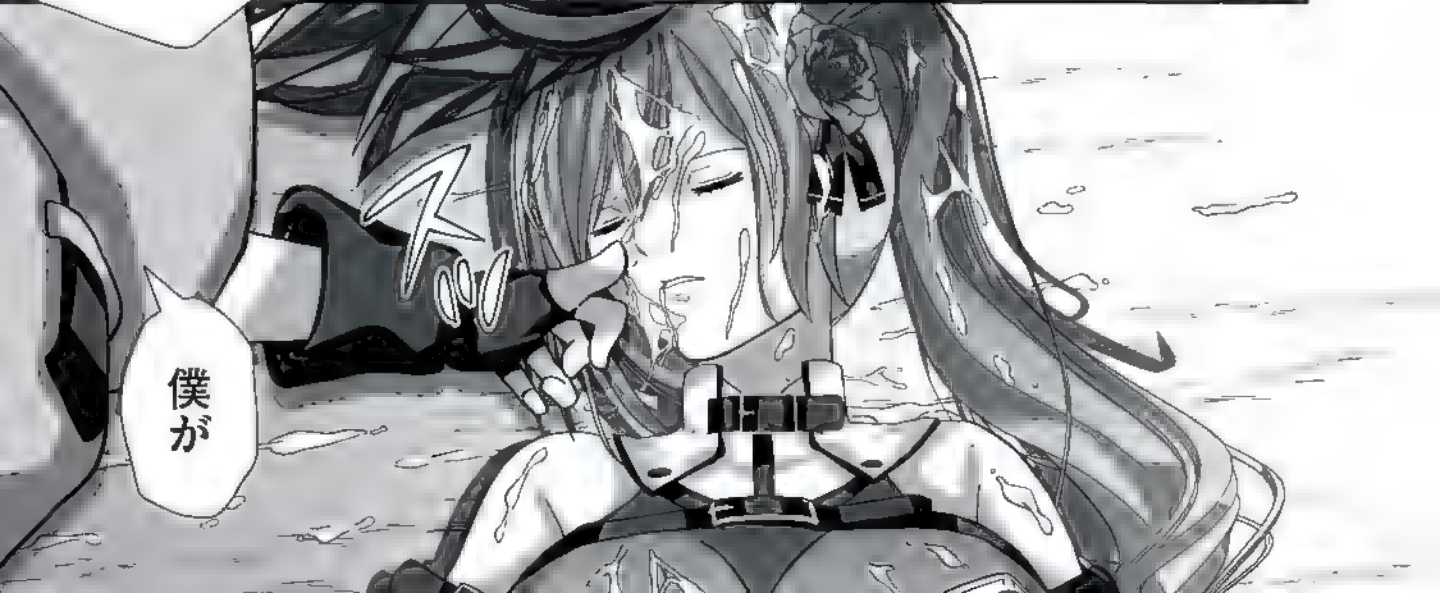
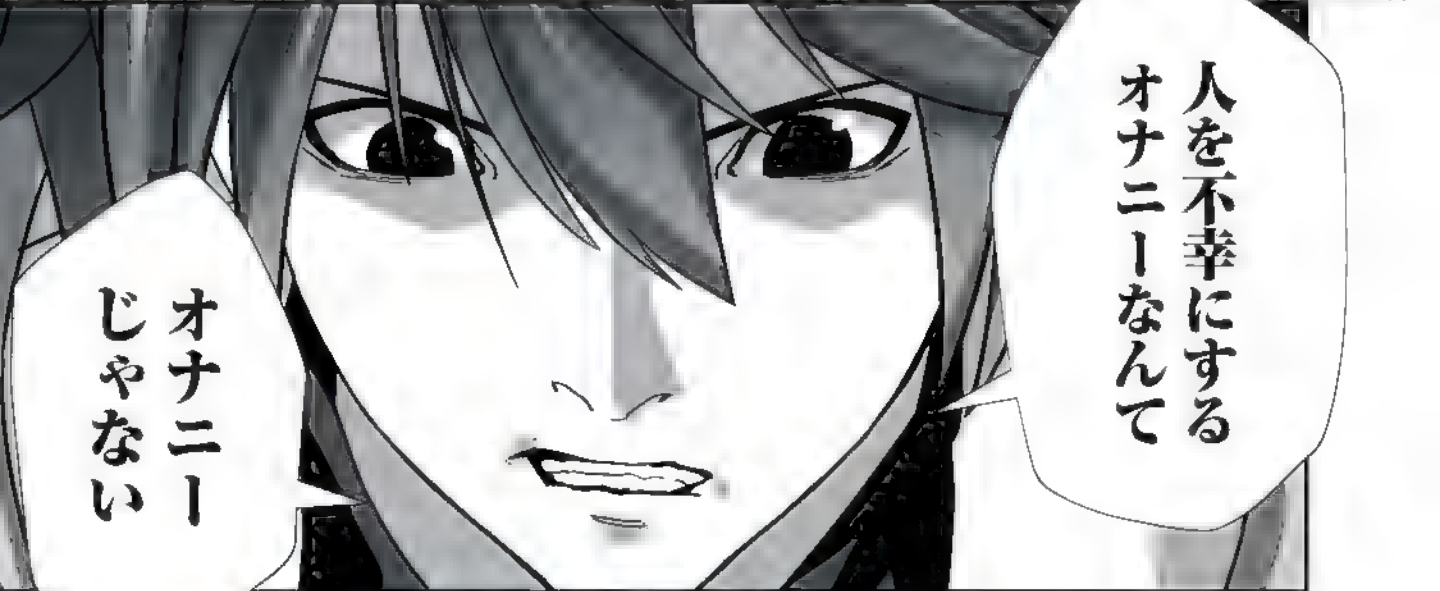


愚かな人間め
我を討伐でも
しにきたか

貴様も我が
オカズに
なるがいい







オナニーの
やり方を
教えてやる！



あの巨体

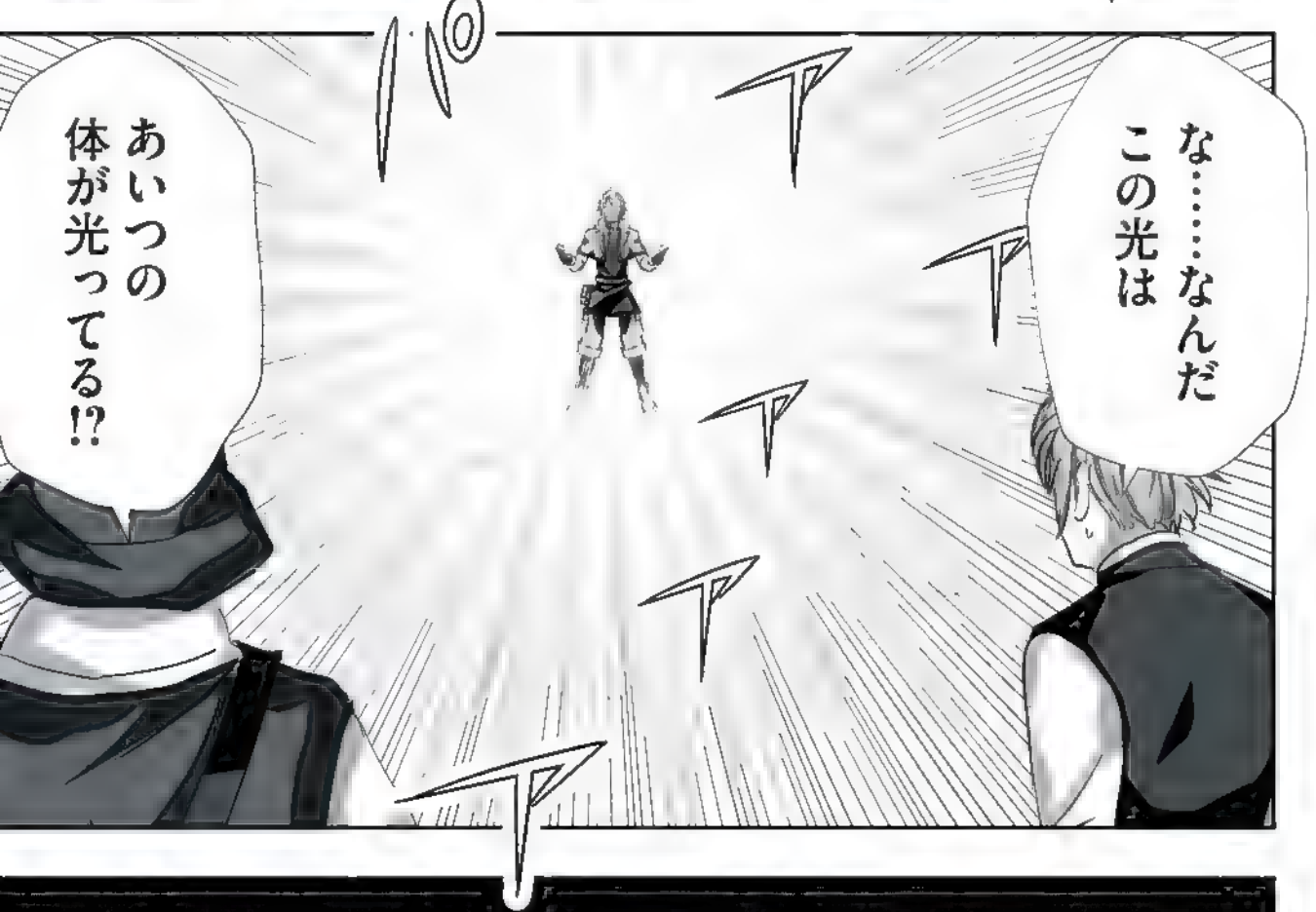
そしてあの
禍々しさを
包み込む

今までのような
アダルトグッズ
じゃダメだ





そんなアダルト
グッズが必要だ！



あいつの
体が光ってる!?

な……なんだ
この光は

来い！

天を穿つ
オナホール

天穿
テンガ





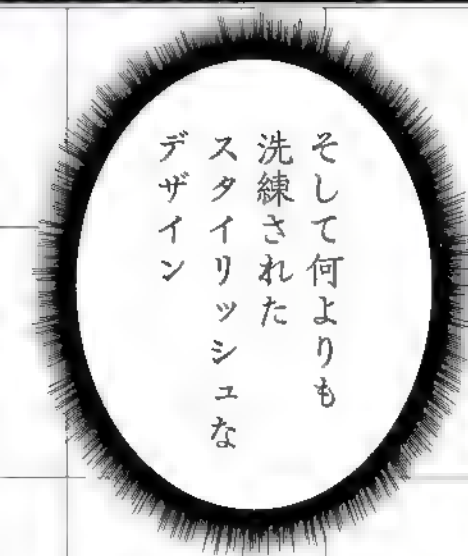
いや
ただ大きい
だけじゃない



なんだあの
巨大な
オナホールは

世界中のチンポを
入れてもおつりが
きそうだ

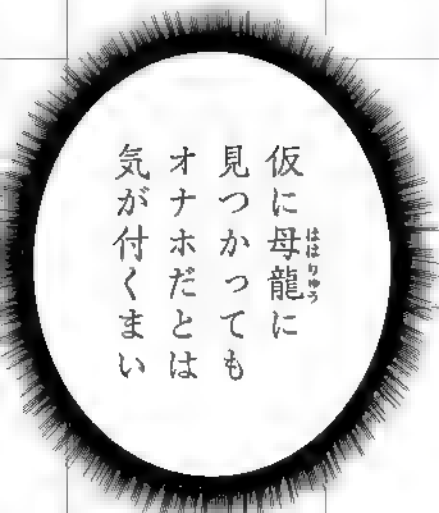
ザイッ



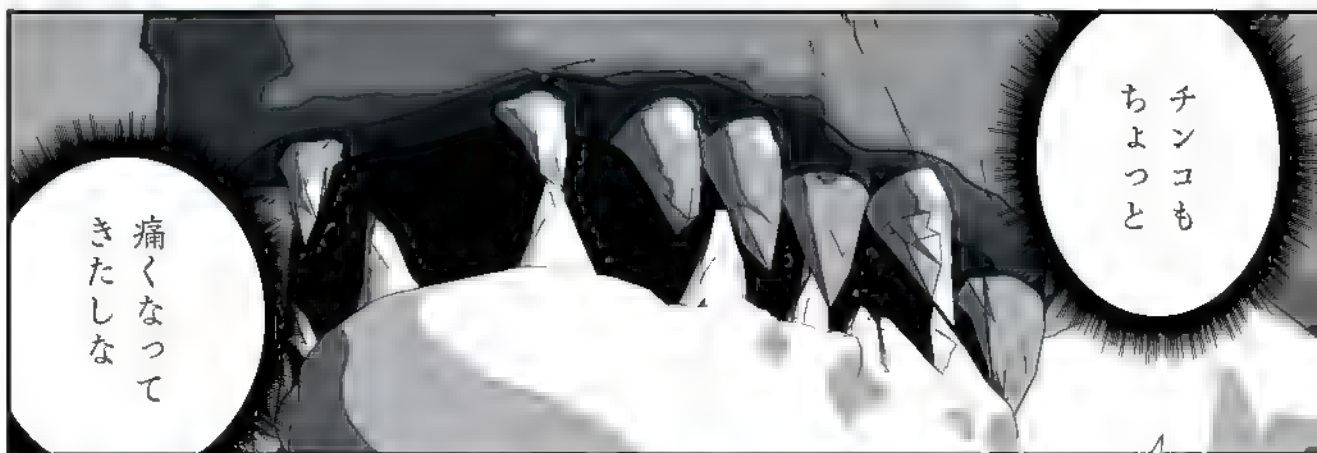
そして何よりも
洗練された
スタイリッシュな
デザイン




しっかりと
私の右曲がり
にも対応している




仮に母龍に
見つかっても
オナホだとは
気が付くまい





今日も
スッキリしたな

やはり性欲を
満たすには
あの村が最高だ



なんだ？
この音は



逃^にがさない！

これはおまえ
専用のオナホ！

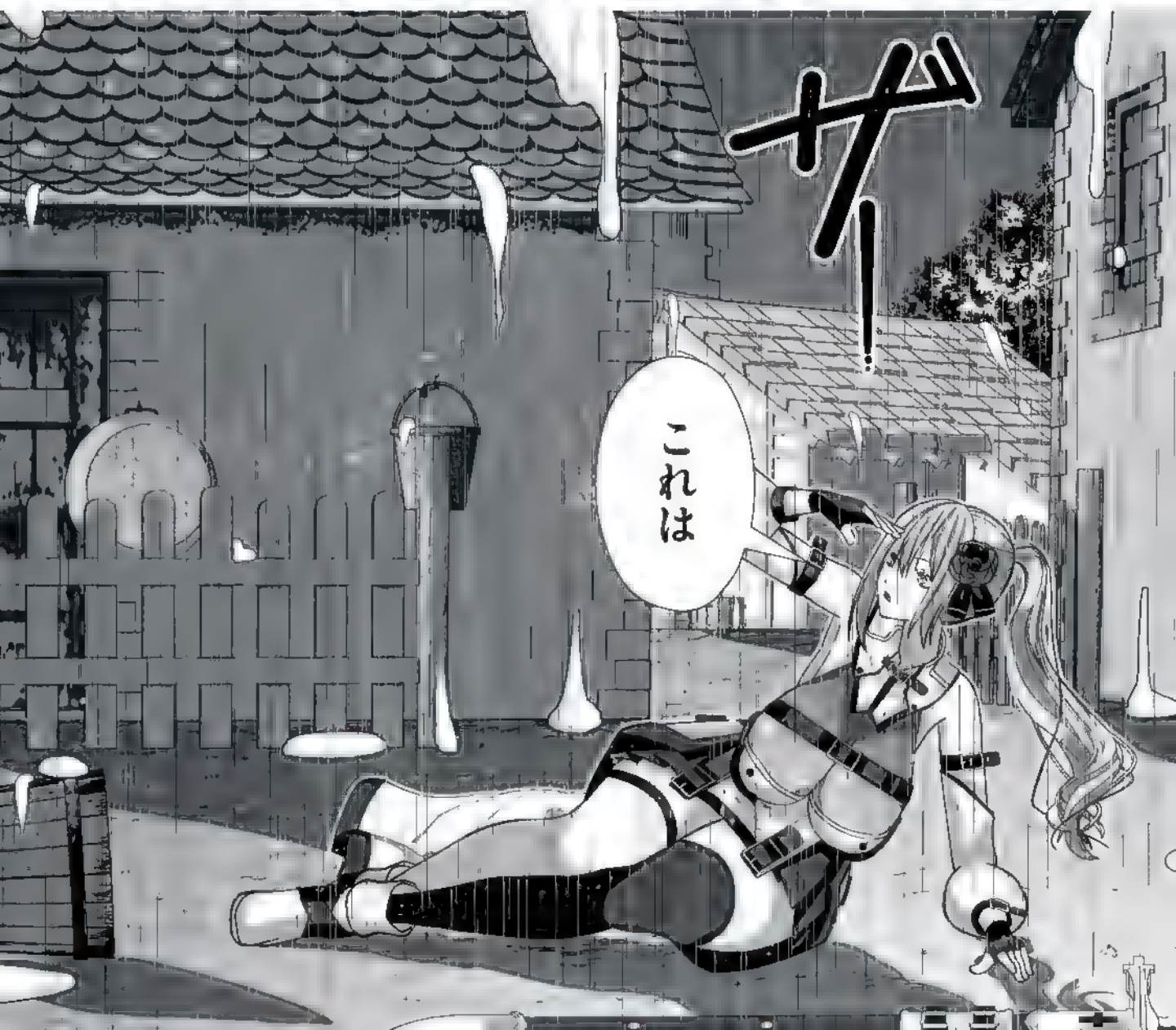
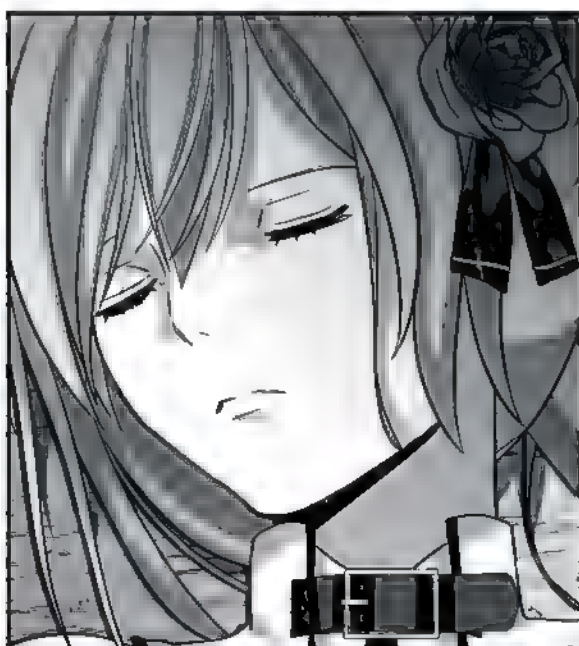
つまり空中プレイ
にも対応済みだ！！

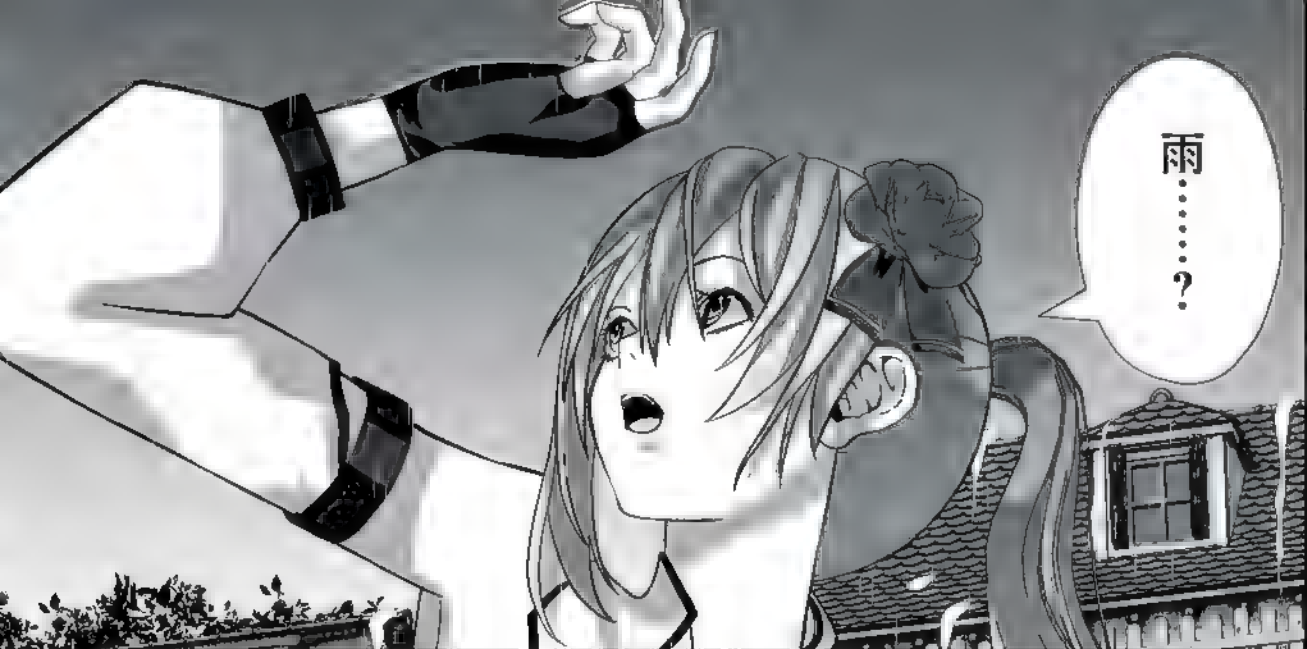
な…

な…

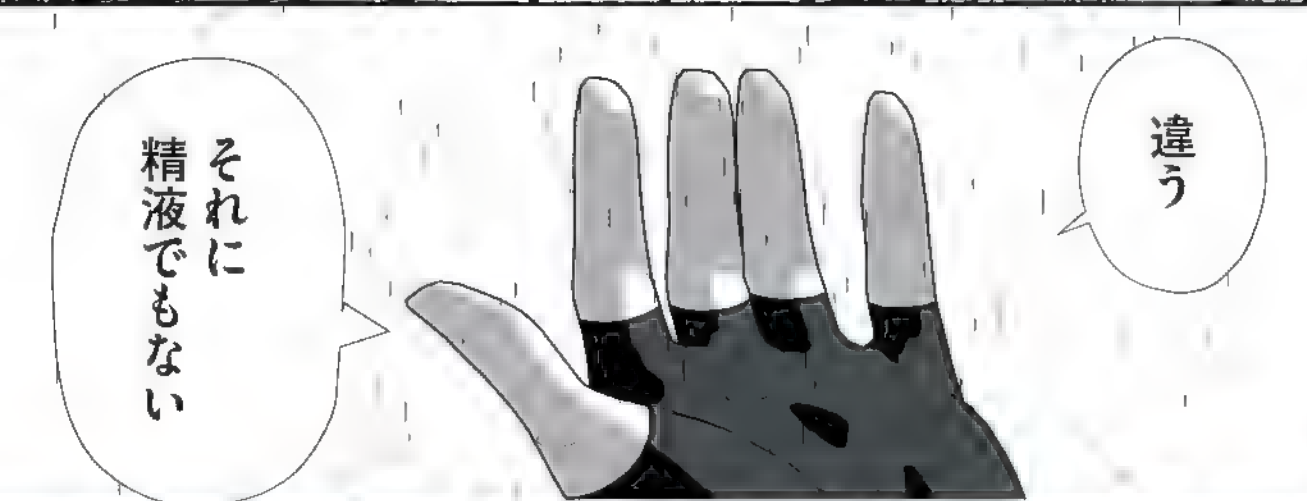
なんだとおおお！







雨……？



違う

それに
精液でもない



これは……

しお
潮だ

.....

ドラゴンが
潮をふいている



オルガ

ドラゴン討伐
本当に感謝している

いや感謝しても
しきれない

あ……頭をあげてよ
僕も助けてもらったし

なにより
僕らパーティ
じゃないか

……

ありがとう

あと……
その……
聞いてもいいか？

何？

その女の子は誰!?



ああ
この子は



聞くがよい娘よ



我は
ハウスセックス
ドラゴンじゃ！



え……でも
ドラゴン

しかもオス
だったじゃない



我はこの男が
気に入った

故に人間のメスに
なってやったのじゃ



めちやくちや
だけど本当だよ

そうか……

オルガが
そう言うのなら
そうなんだろう



なら







おぬしらは
我のように

『淫紋』を持ち

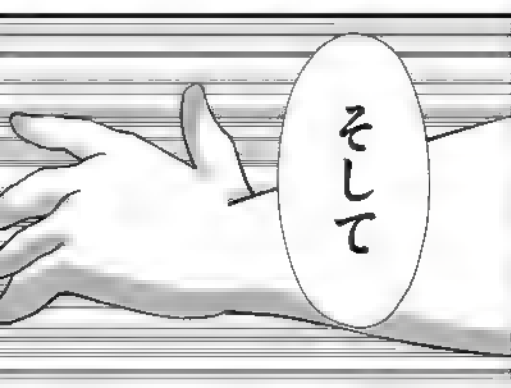
性欲をもてあました
モンスターに
出会ったことはないか？



やつらは

『性欲モンスター』

今世界各地で暴れ
その性欲を満たして
おる



そして





あやつらの性欲を
解消できるのは

おぬしの
性具のみじや



オルガよ……
おぬしの力が

この世界を
救うのじや

その日、運命に出会った

僕の
性具が……

次回、ハウスドラゴン淫乱。

僕のアダルト
グッズが
世界を救う？

それに
『性欲モンスター』
っていったい

慌てるでない
そのうち話す



なにせ

彼が背負ったのは、^{さだめ}アクメの運命。

これから
ずっと一緒
なのだから

夫婦として

夫婦だと!?
ふざけるのも
大概にしろ!

この色ボケ
ドラゴンめ!

ゴロ

嫉妬は
見苦しい
のじゃ

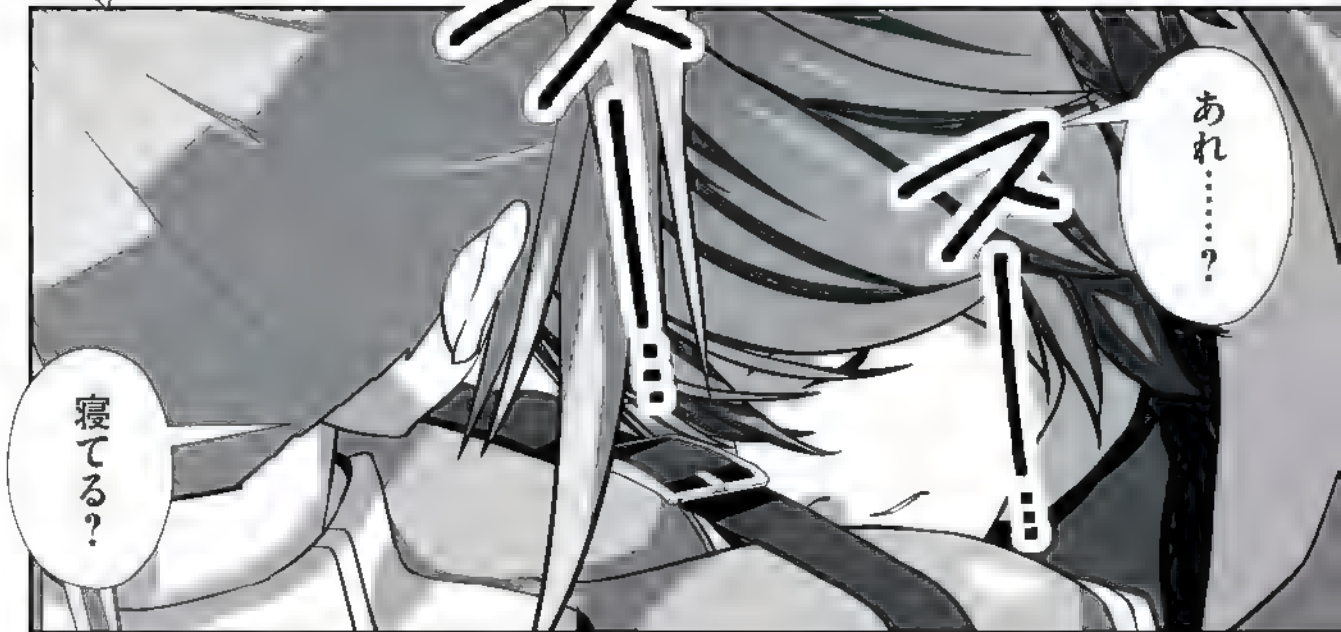
!

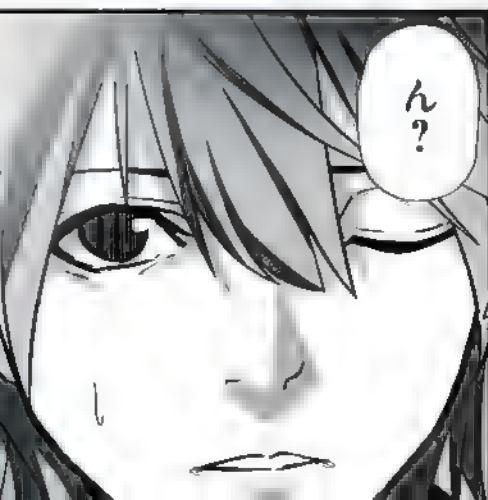
きゅん

オルガも
黙ってないで
何か言ってよ

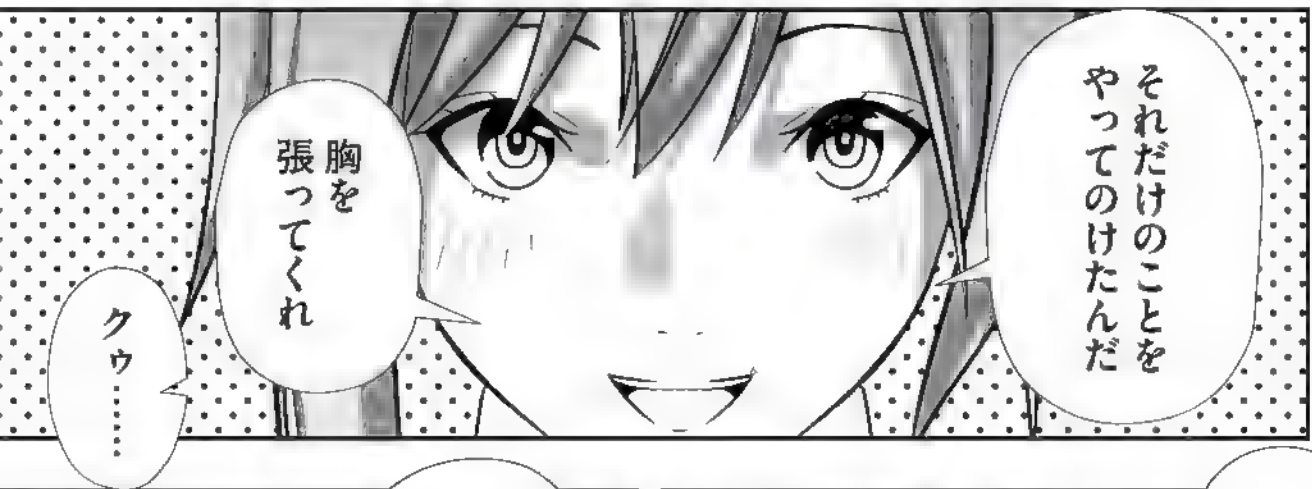


アラ









はっん!!

記念の像を作らせて
いただきました！

うーん……
そうだね

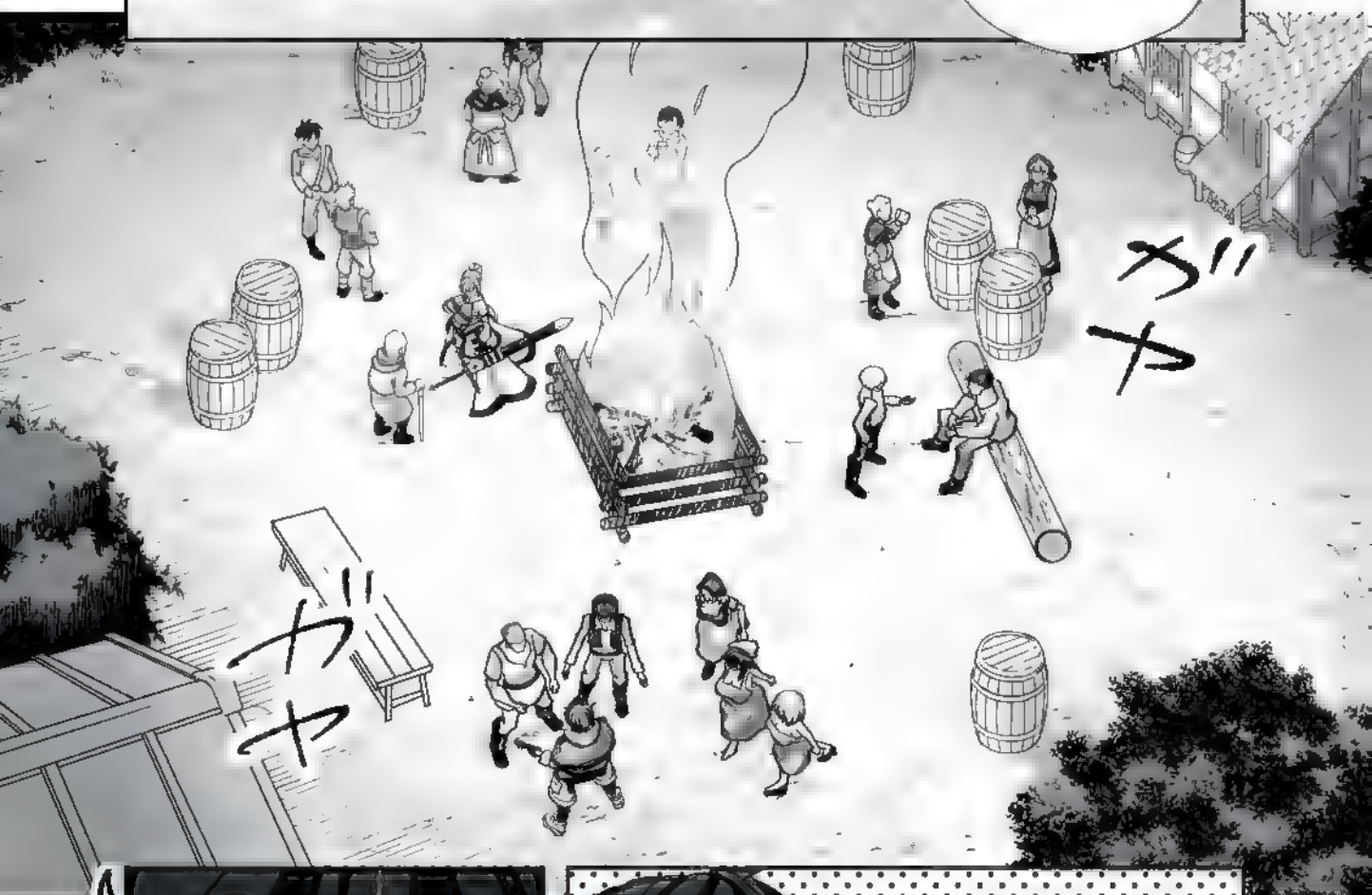
気持ちには
嬉しいけど

ねえオルガ

いや……
これは
ちよつと……

……

オナホの挿入口は
もうちよつと
大きくした方が
いいですよ









ちよ……
ちよっと待って
いきなり何を

安心せい
我も順序は
わきまえておる



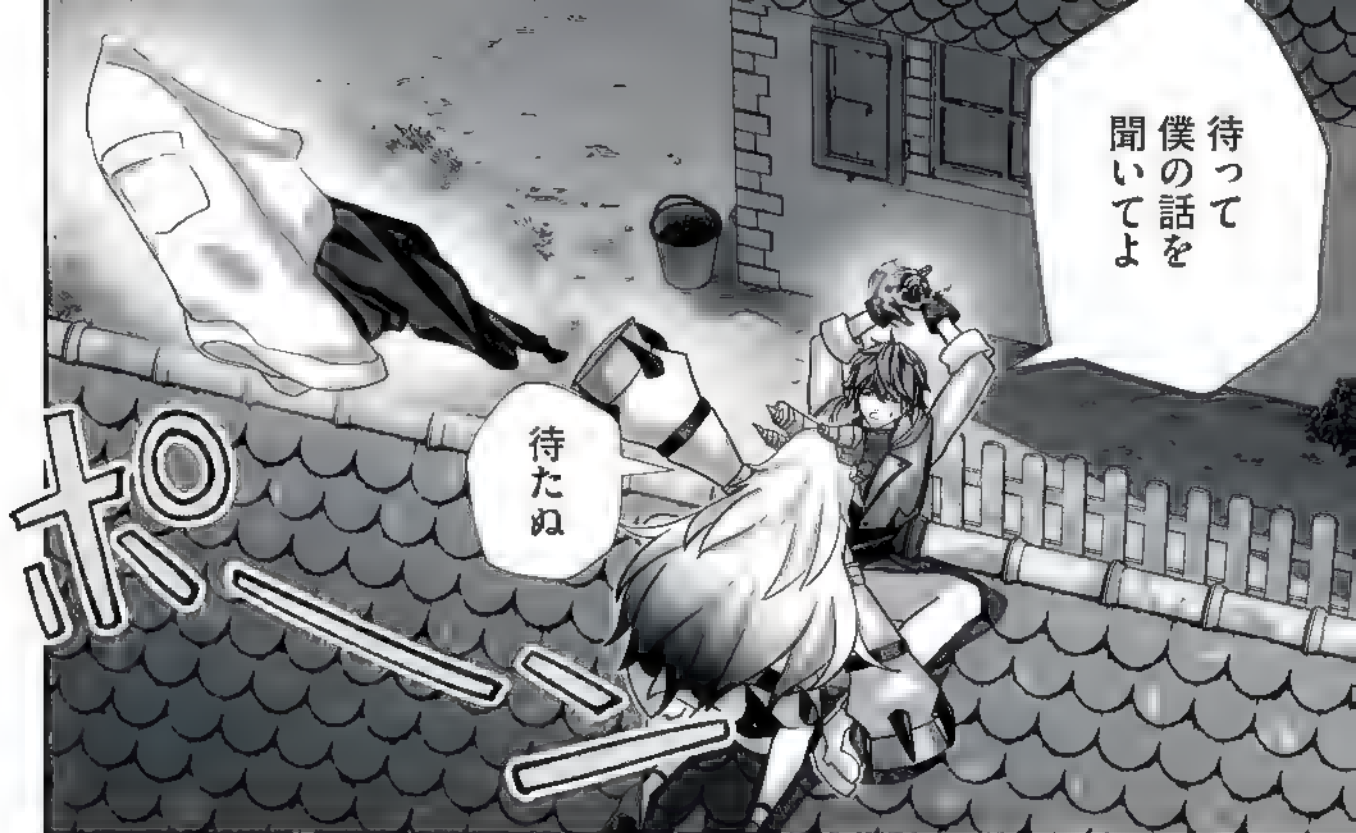
まずはこの口で

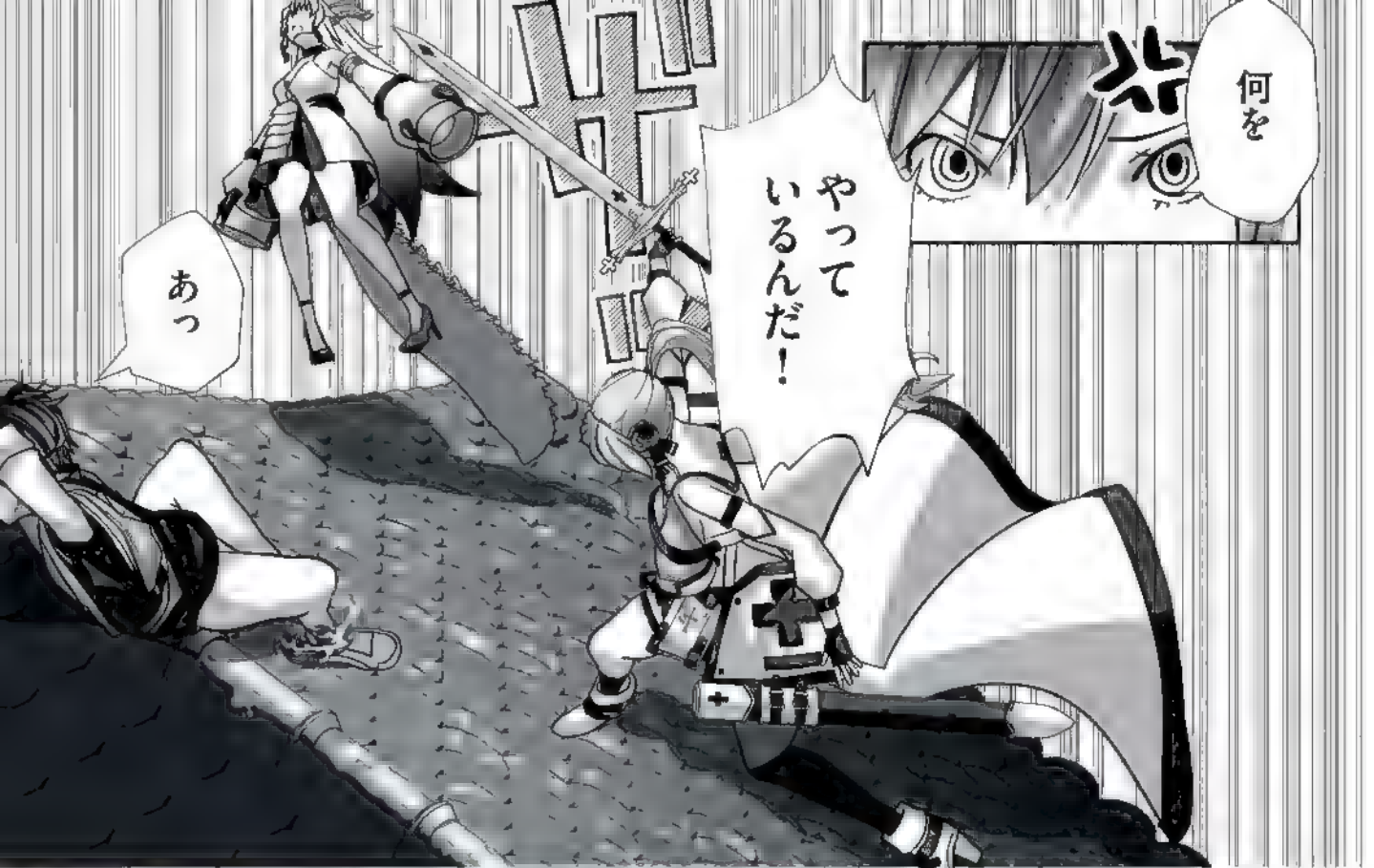
たっぷり気持ちよく
してやるのじゃ



ってダメだ

完全に発情してる





オルガは
私のことが
嫌いなんじゃ



我との
セックスを
拒むとは

お……し
落ち着いて

事情があるんだ

事情?

うん
実は……



『性欲と制欲』
だよ



なるほど
だからあれほどの
力を……

ハウス？



せいよくと
せいよく？

性欲を制欲
つまり禁欲
することにより

魔力を高めて
錬金術を行って
いるんだ



興を削がれた
我はオナニーでも
することにする

話が終わったら
呼んでくれ

あつ
バイブ使っ……

って
行っちゃった

淫紋関係なく
もともと性欲が
強いみたいだね

オルガ

もし射精して
しまったら
どうなるの？

僕が

射精して
しまったらね

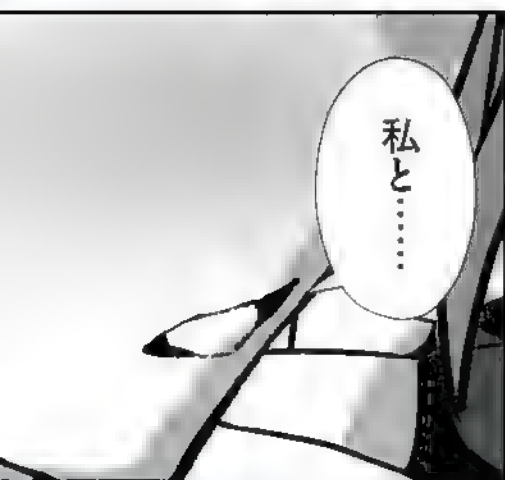
ああ
そうか

それも話して
おかないかね





えっと……
その時は……



私と……



もしも
性欲モンスターを
全て倒して

世界が
平和になったら



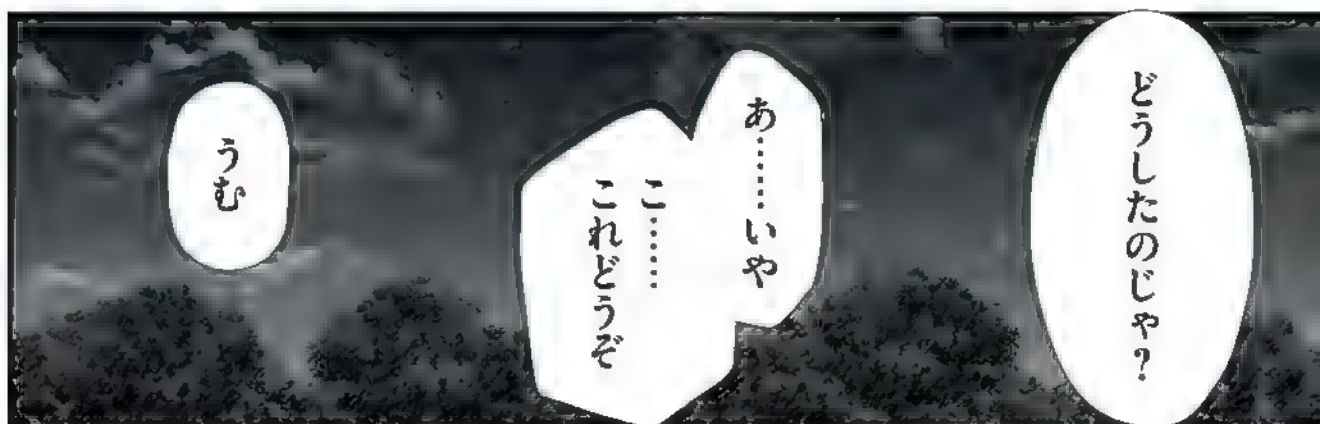
え……

クウ……
それって



オルガー
やっぱり
バイブくれー

!?



どうしたのじゃ?

あ……いや

こ……
これどうぞ

うむ



さて我は

ここらで
発散すると
するかのう



やれやれ
あの小娘なかなか
油断も隙もないのじゃ



オシギ

オンナダ……

ガッ

ド
ズ
ズ

ゴブリン×ドラゴン、誰も見たことのない交わりの危機



魔の者に忍び寄る魔の手。

ちよつと
オルガ!

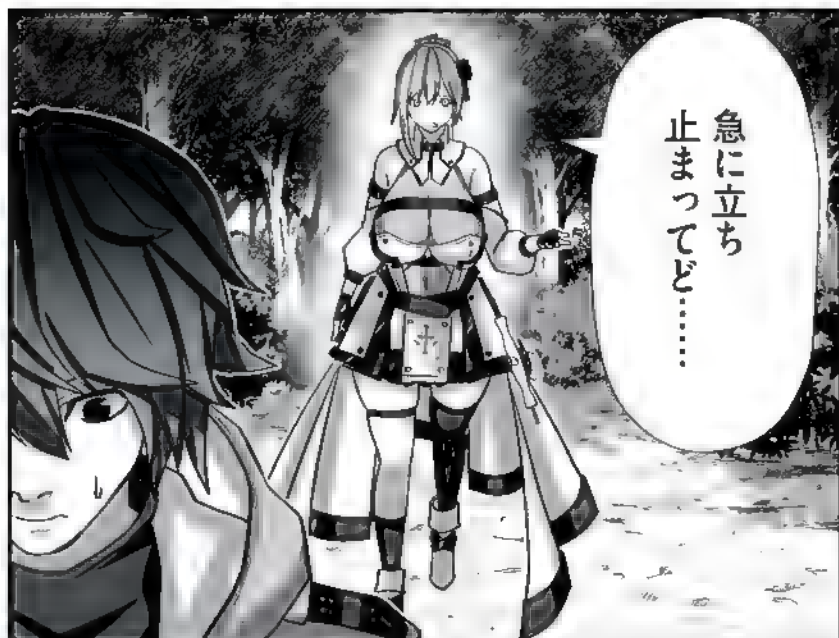
急に走って
どうしたの？

ハウスに
渡したバイブ

それから
嫌な感覚が
するんだ

きっと何か

ん？





遅かったのう

話は
終わったのか？

こ……
このゴブリン
たちは？

性欲モンスターじゃ
我に欲情し
襲ってきたのじゃ

オルガの
パイプを
挿したら

絶頂し
淫紋も消えた
がのう

絶頂したの？

そうじゃ
流石^{さすが}
私の夫じゃ

まだ言うか

✱

あれはハウス用バイブ
それでゴブリンが絶頂
するなんてありえるか？

もう二度イクのじゃ

どい
どい
どい

どうしたの？

確かめたい
事がある

？

ず
ぽ

やっぱり
このゴブリン

尻の穴が
開発済みだ！

ギルドに戻ろう！

何かが
おかしい

ギルド



聞いてない
のですか？

受付嬢か
この大勢の
冒険者は何だ？

騎士団が
冒険者たちを
緊急招集したんです



なんだ
この人たちは

あ！
クウ様！



ゴブリンの群れが
この街に迫って
来ているので

さっきの
性欲モンスター



え

無理だ
やつらは

言ってくれる
じゃないか



まあ
これだけの
人数がいれば

勝てない

騎士団長！

騎士団長……？

君がオルガくんか
弟のフロアから
聞いているよ

騎士団長
キン=オーナ

元パーティ騎士
フロアの兄か
自慢してたな

何故我々が
勝てない？

それは

やつらは
性欲モンスターで

アダルトグッズ
じゃないと
倒すことが出来ない
からです

具体的に言うと
尻穴にビーズを
入れたり

オナホで
射精させたり

ローターで
乳首を刺激したり

つまり
イカせる
必要があるんです

……なるほど
そういうことか

わかって
くれましたか



聞いていた以上の
変態セクハラ野郎
らしいな

出して
ください！

断る

これからの戦いを
邪魔されたら
かなわないからな

な……なんで
僕たちが牢屋に!?

まあ
もつとも



私がいれば
邪魔など
出来ぬだろうがな



睨にらまれただけで
動けなかった

あんな奴やつは
初めてだ……

僕も初めて
会ったよ

あんなにも
恐ろしく



戦いはすぐに
終わらせる

それまで頭を
冷やしておけ

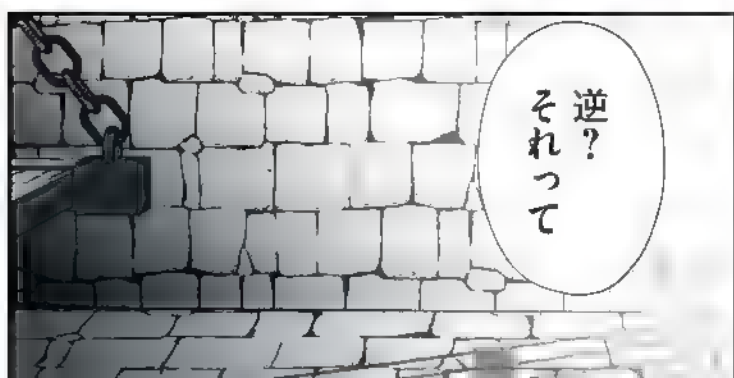


あんなにも
ムラムラ
している人に



彼は
魔力を使う
わけじゃない

だから
おそらくは
僕と逆



逆？
それって



ムラムラ？
性欲と制欲によって
強くなっているのか？

いや



嫌じや

我には人間が
どうなろうと
関係ないし

オルガは
ここにいる方が
安全だからのう

ハウス……

所詮モンスターだ
当てにしない方が
いい

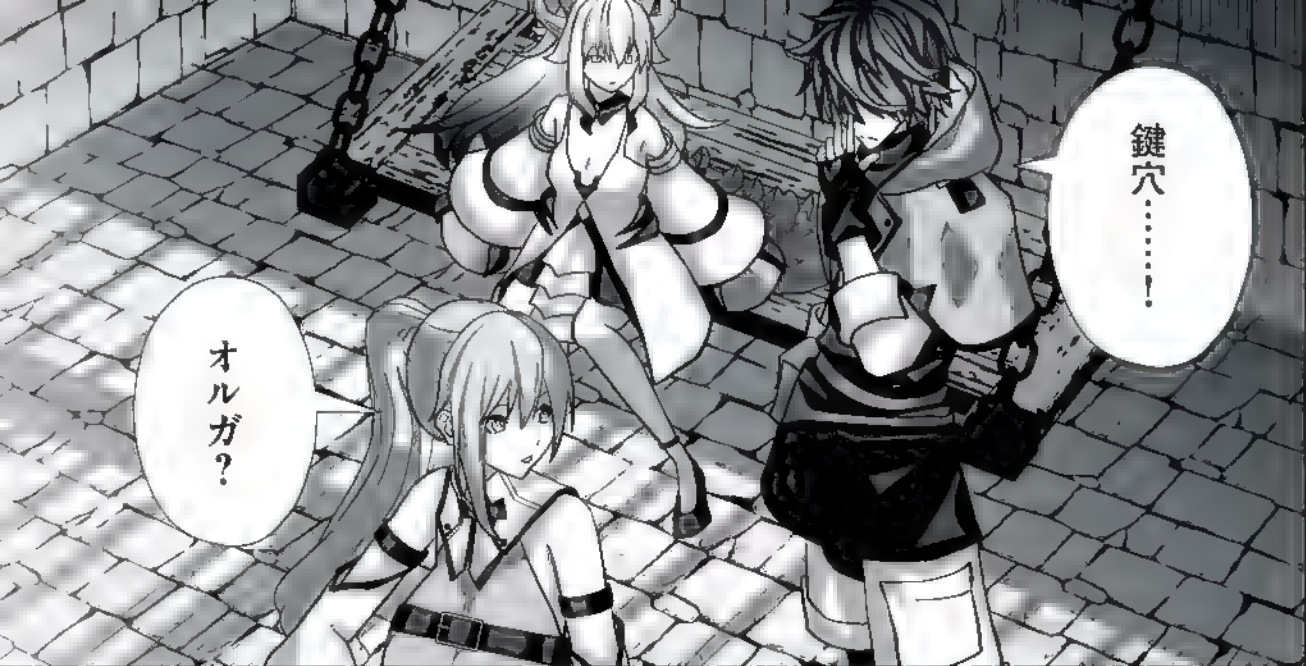
何とか
なんきんじょう
この南京錠を
壊せれば……

カチャ
カチャ

くそっ！
どうにか
脱出しないと

くく……
あまり乱暴に
しない方がいい

『鍵穴』が
壊れて出られ
なくなるぞ



よがらせてみせる！

お

ま

ハッハッハッ

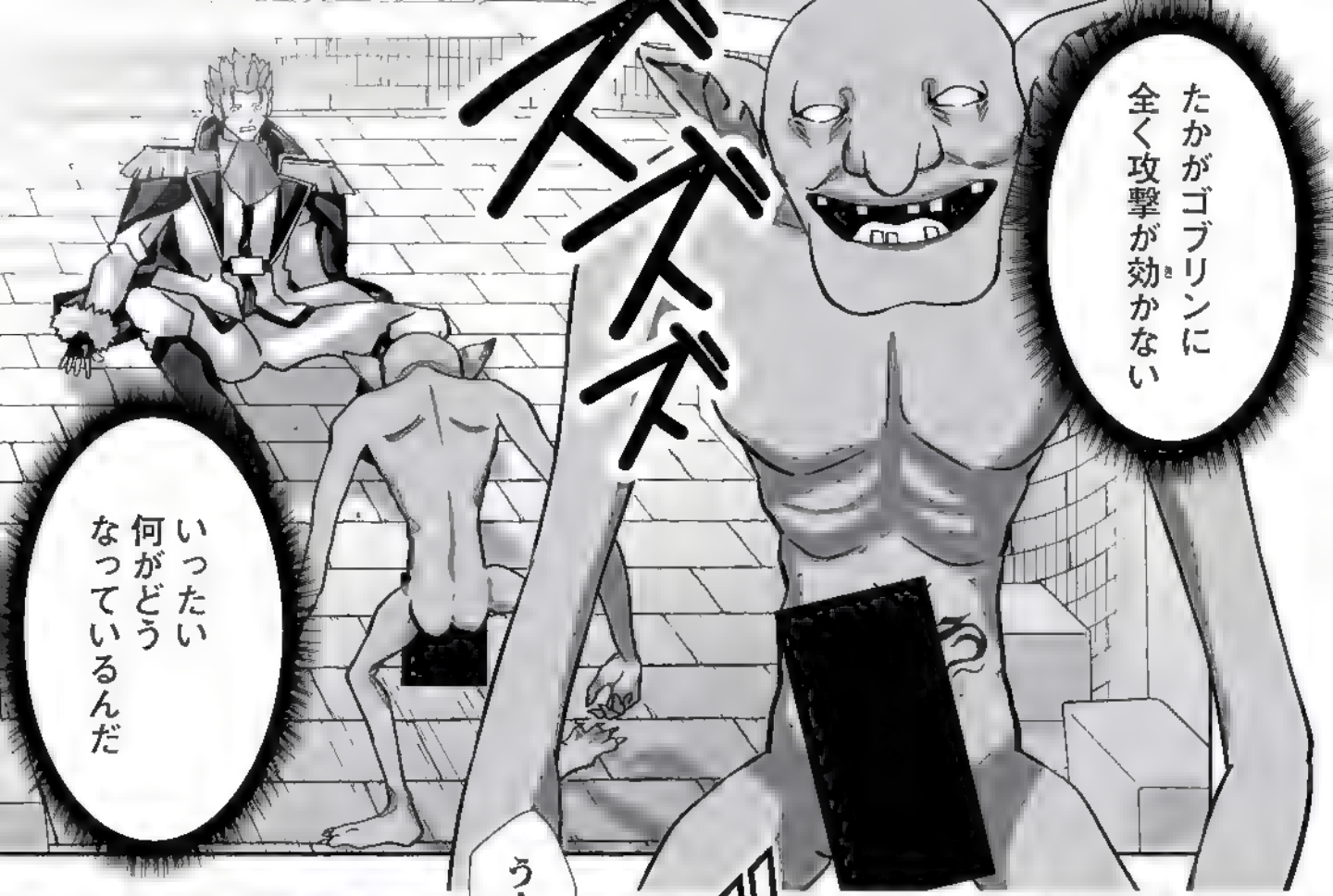


.....

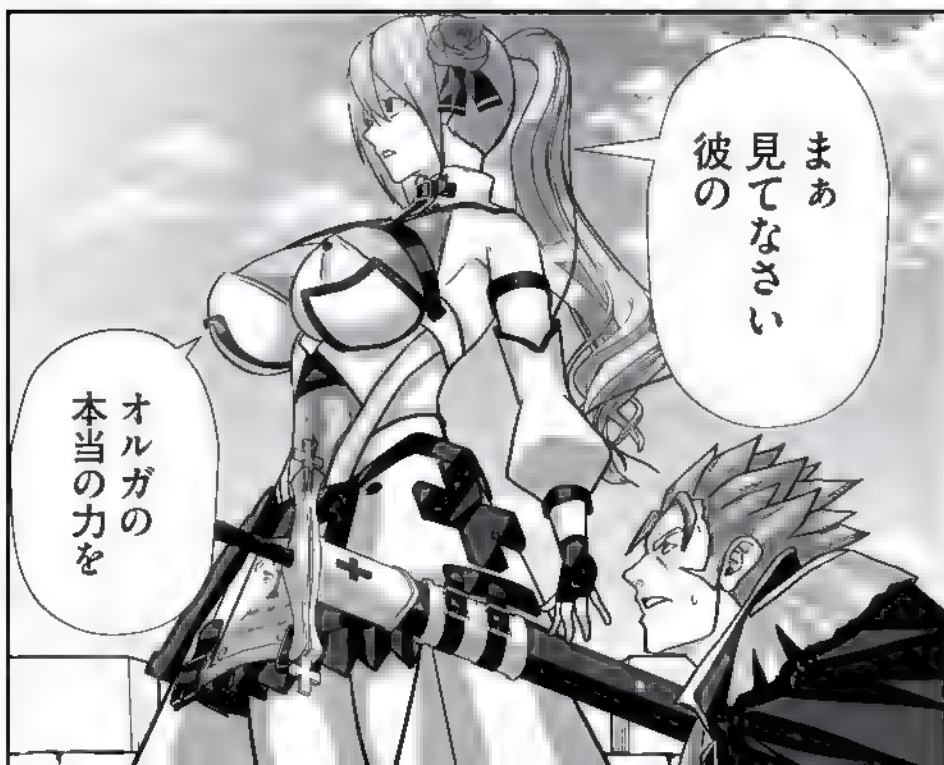
こんなはずでは

ホッ









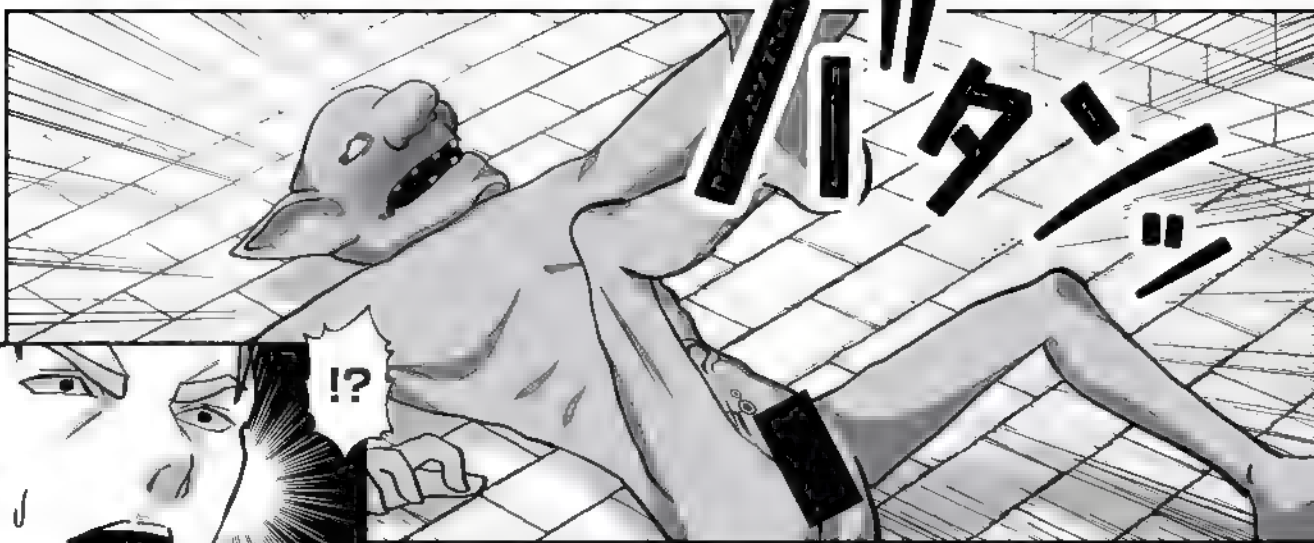


本当の力……？



って
何が本当の
力だ！

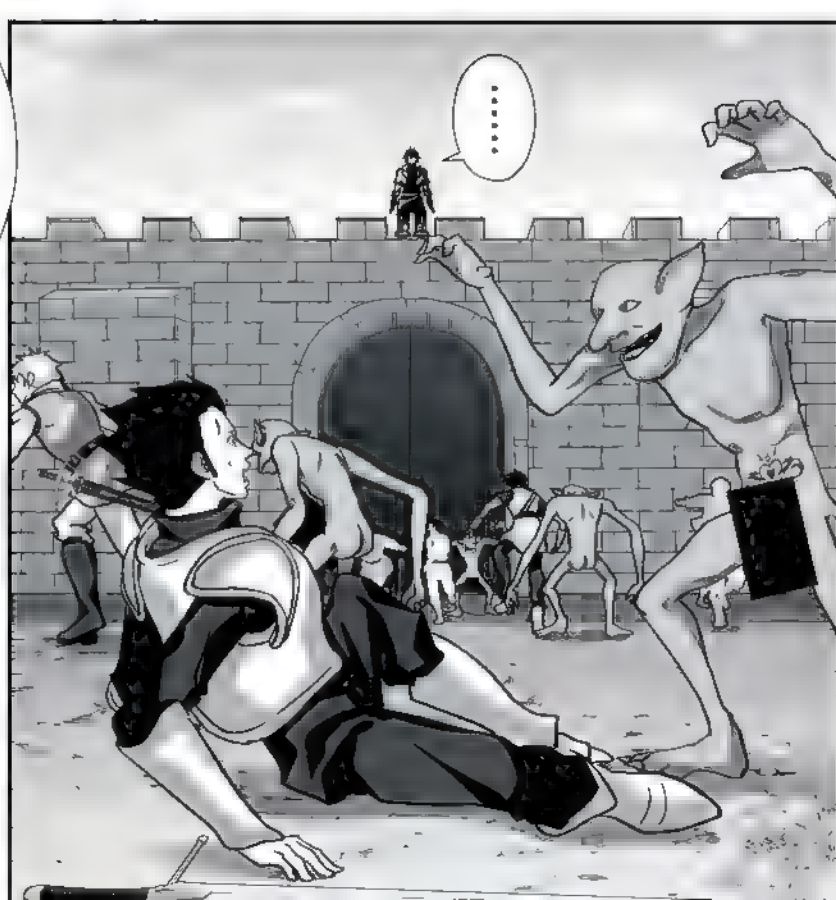
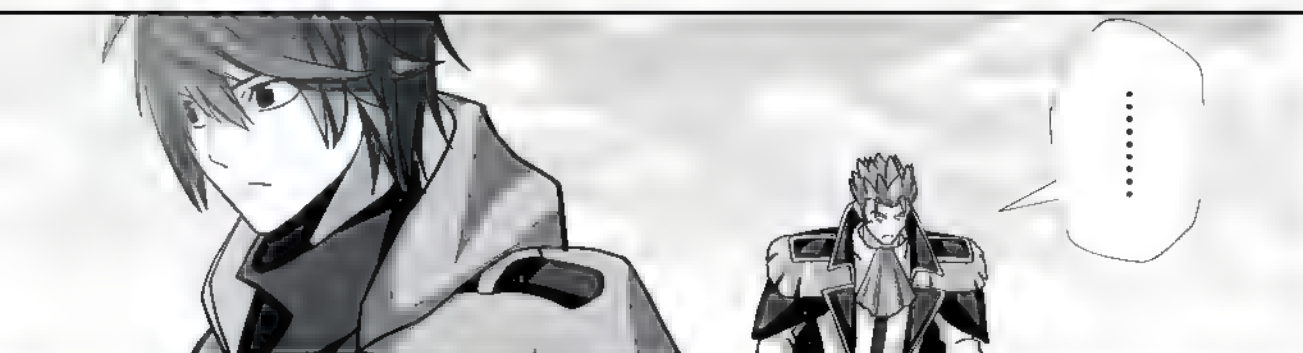
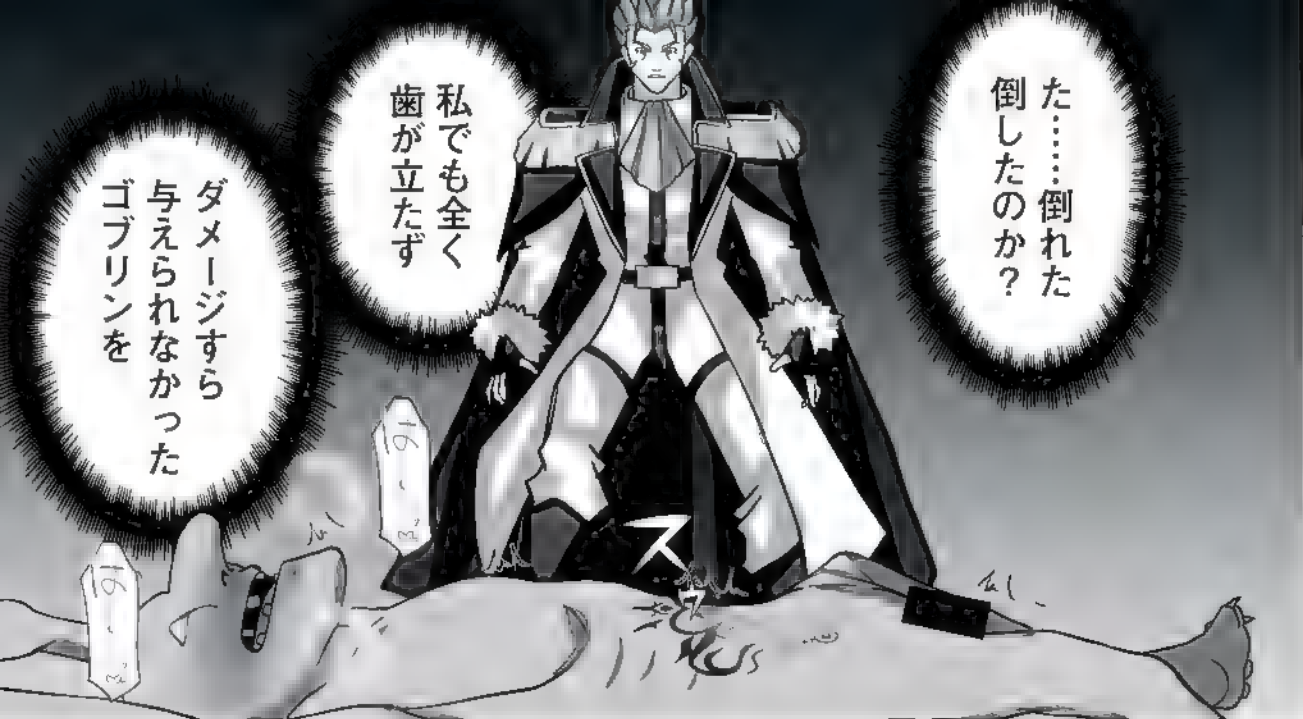
ただ射精させた
だけじゃないか

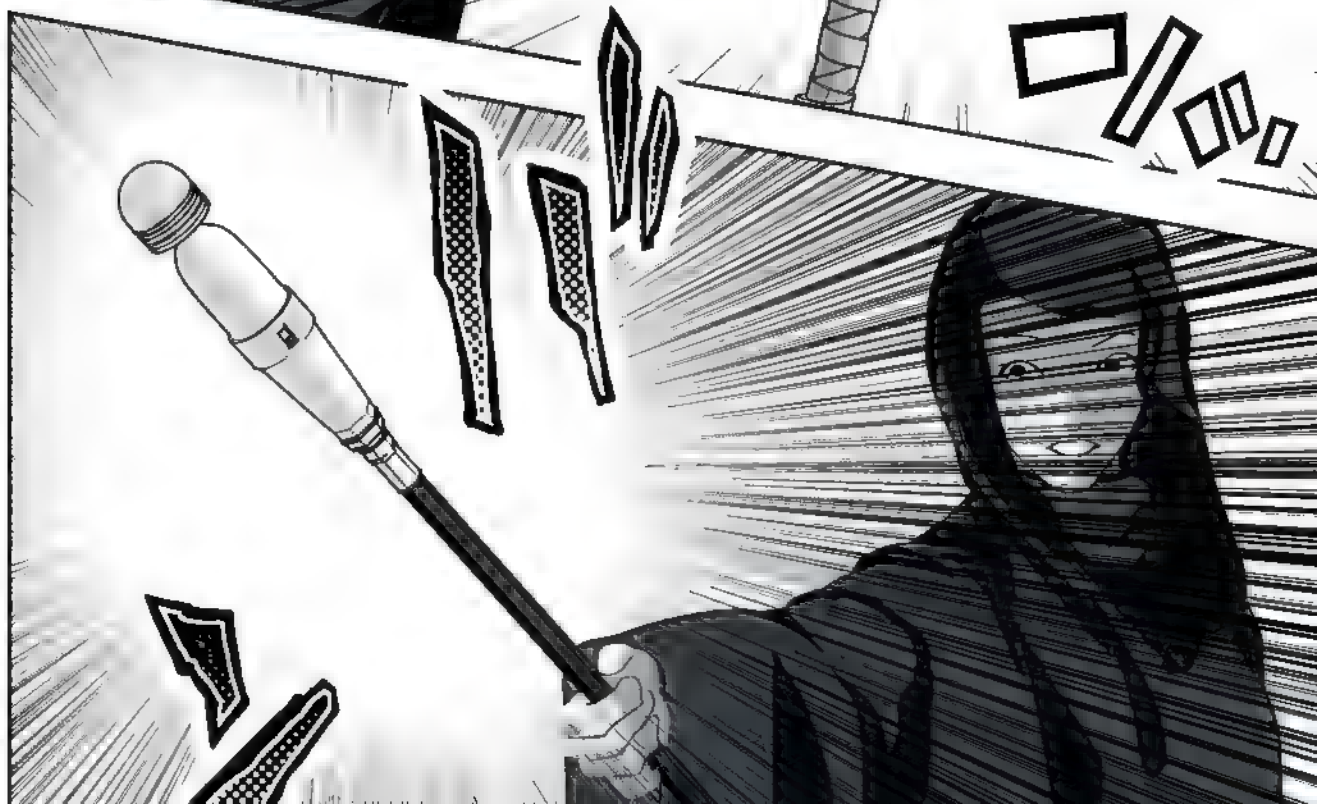
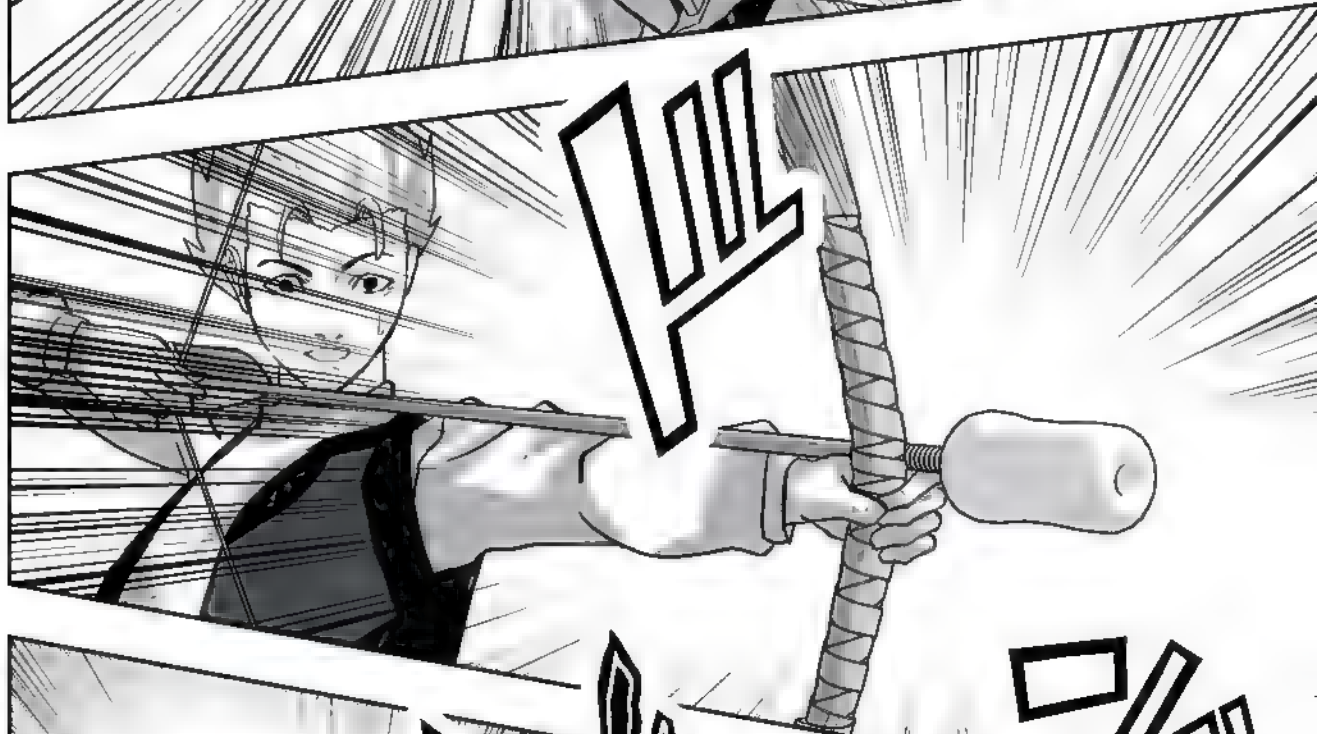


タン

!?









命令だ！

彼の言う
とおりしろ！

!?

ど……
どうする？

どうする
って……

や……
やってやる！

お……俺も

おほっ

おほっ♡



申し訳ない

！

私が君を
信じてさえ
いれば

こんな
事態には……

あ……
頭をあげて
ください

これからは
力を合わせて
戦いましょう

お……
オルガ君……

……

報告いたします

戦況は一転し
反撃を開始
しました

よくやった
我々の勝利も
目前だな

オルガ君？

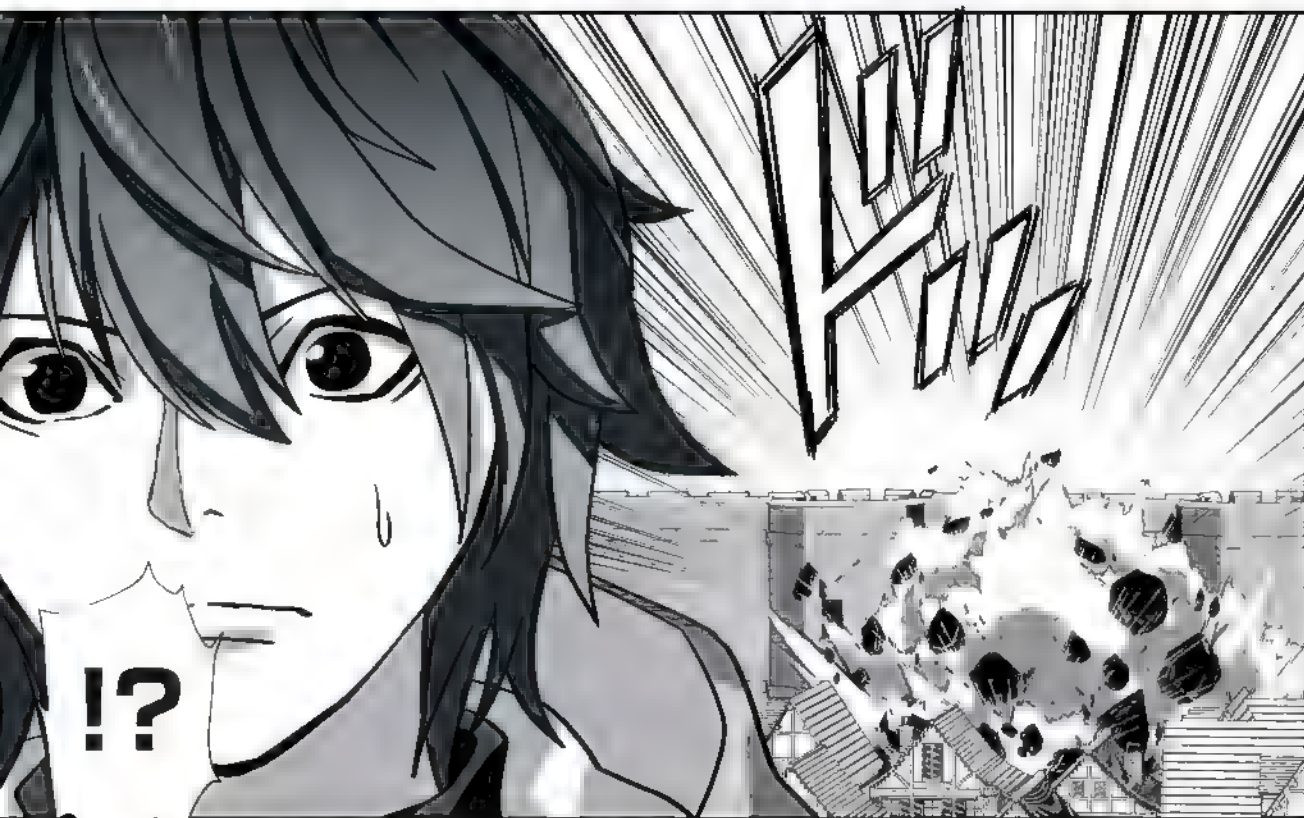


もしかして
この襲撃には



統率のとれた
ゴブリン

開発された尻の穴



爆発音!!

後方の城壁か
いったい何が



巨大ラミア!?

敵はゴブリンだけ
じゃなかったのか

恐らくですが





あの巨大ラミアが
ゴブリンの尻穴を
開発し

そして意のままに
操っていた

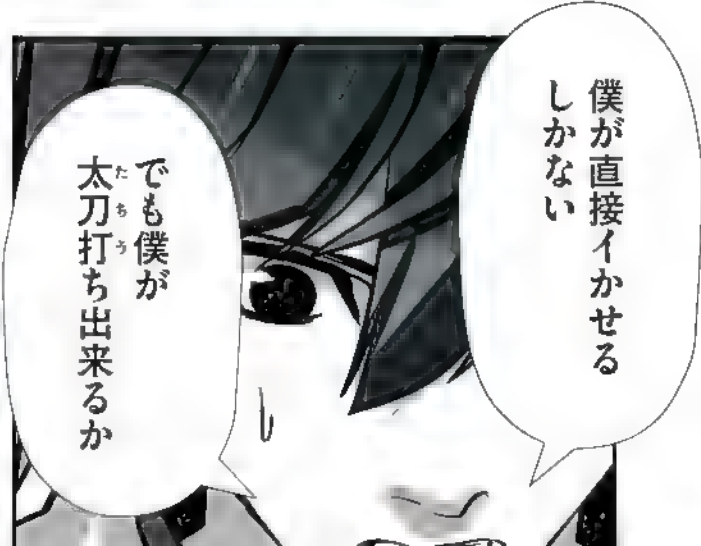


だがオルガ君の
アダルトグッズが
あれば……

ここからでも
やつの強大な魔力を
感じます



なら私が
援護を



僕が直接イカせる
しかない

でも僕が
太刀打ち出来るか

私が援護しよう

私には毒耐性の
加護がある
ラミアに有効だろう

で……
ですが相手は
巨大ラミア

それに
性欲モンスター
です

いったいどんな
恐ろしい能力を
持っているか……

ここまで
状況が悪化
したのは

オルガ君を
信用しなかった
私の責任だ

何があっても

やつは私が



.....それなら



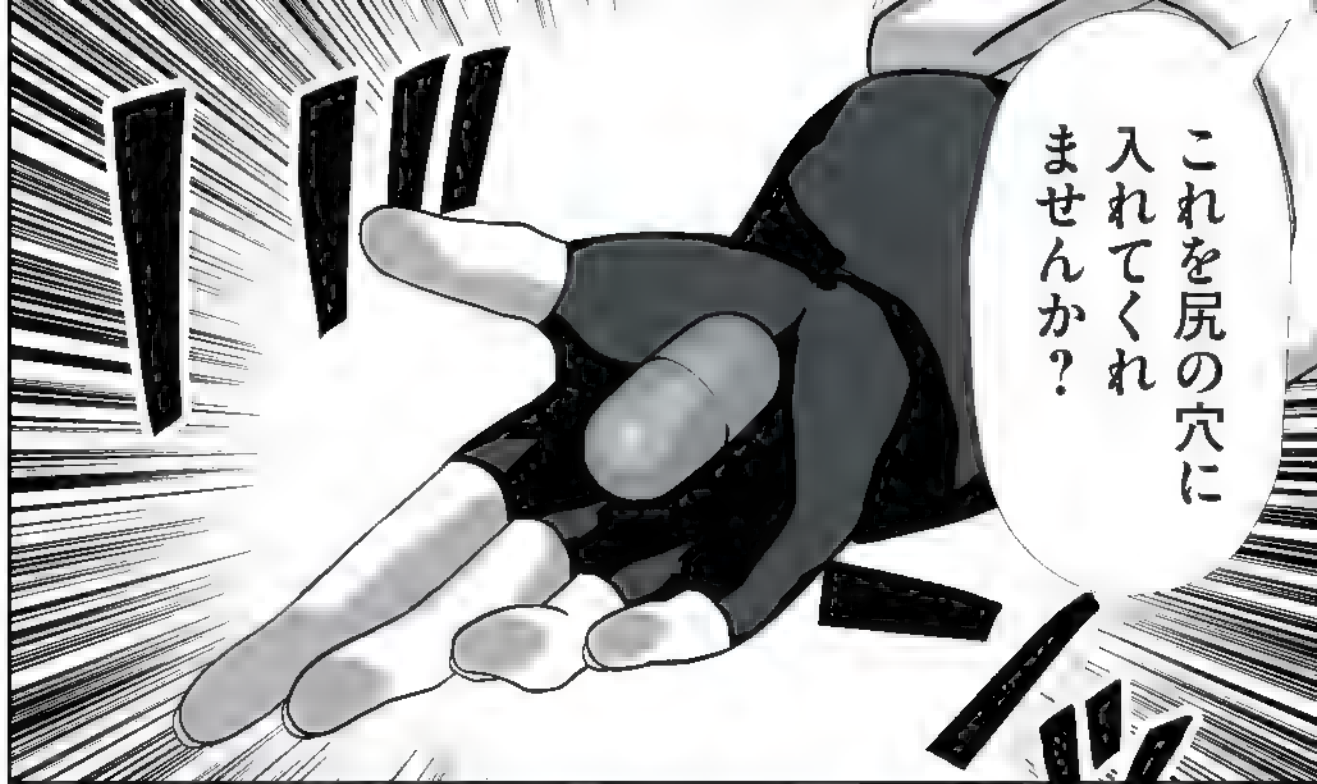
!?

まさか
命をかける
覚悟を.....



僕を信じて

騎士団長
提案があります



これを尻の穴に
入れてくれ
ませんか？



こ……
これを……



尻穴に!?

そうだ、英雄。お前の尻穴だ。

次回、ローター鳴動。

これを
尻穴に……？

はい

お穴に入らずんば力を得ず

魔力を使わない
騎士の貴方^{あなた}には
禁欲^{かぜ}は枷

なので

貴様！
騎士団長殿が
こんなものを！

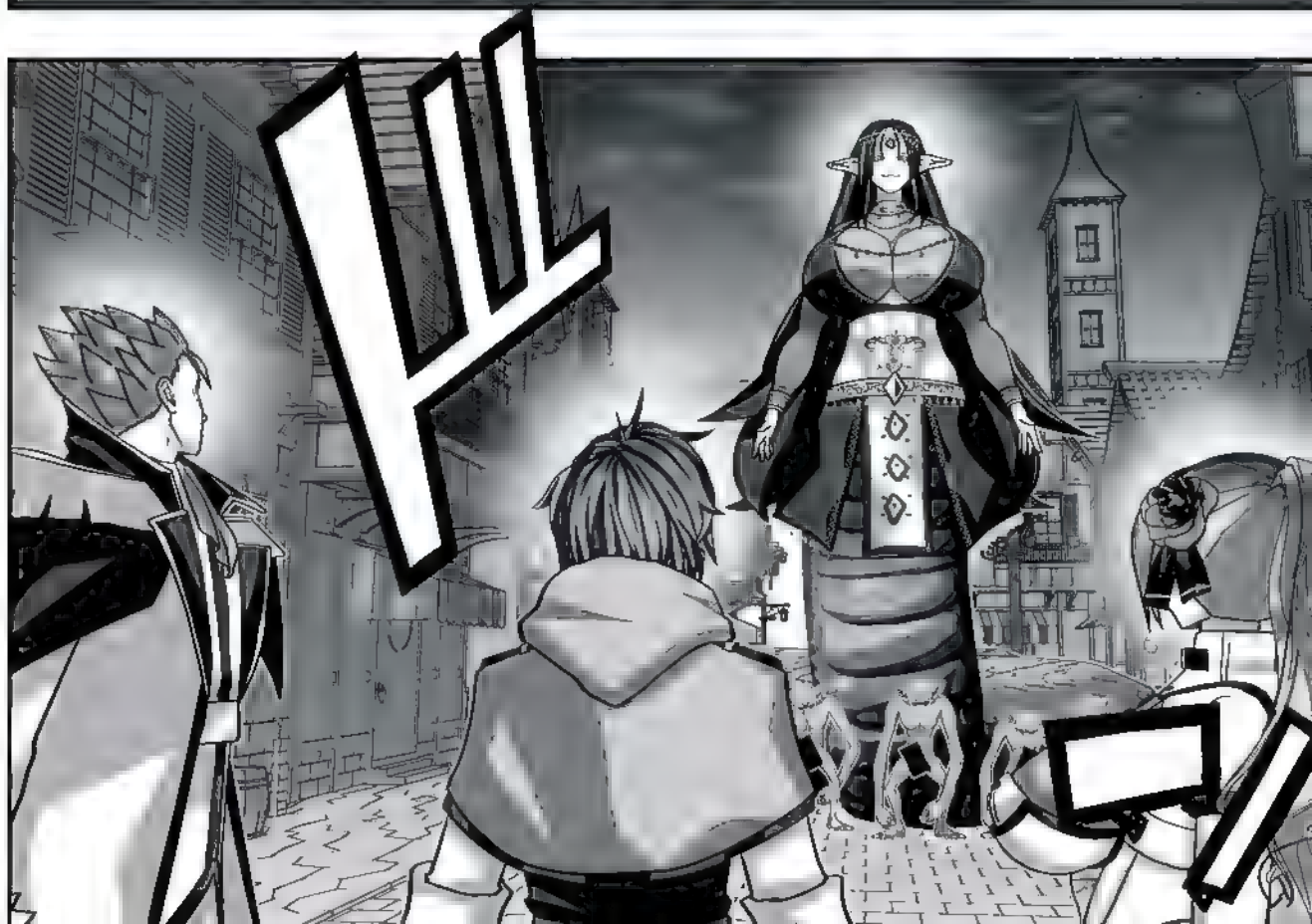
やめろ

皆が
命を賭して
戦っている

ならば

ハッ

私の尻など
安いものだ！





ボーヤたちが
何の用かしら

まさか私の邪魔を
しに来たわけじゃ
ないわよね？



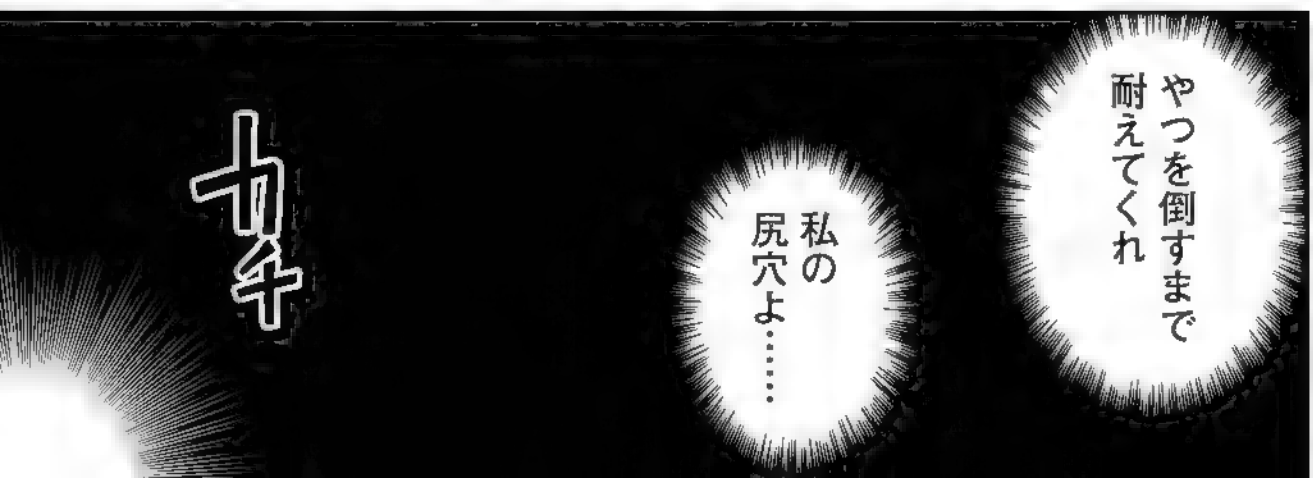
覚悟は
いいですか？

……
ああ



周りの雑魚は
私に任せろ

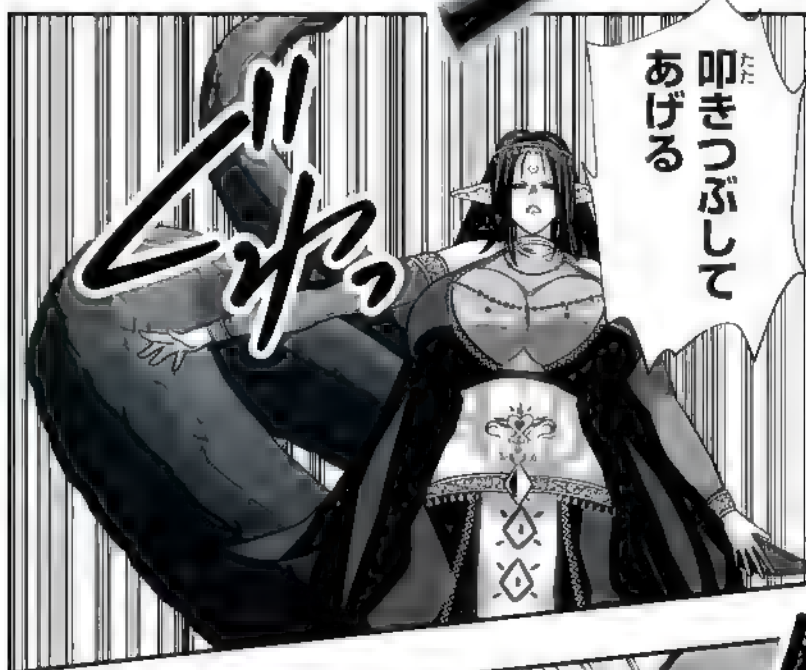
気を付けて



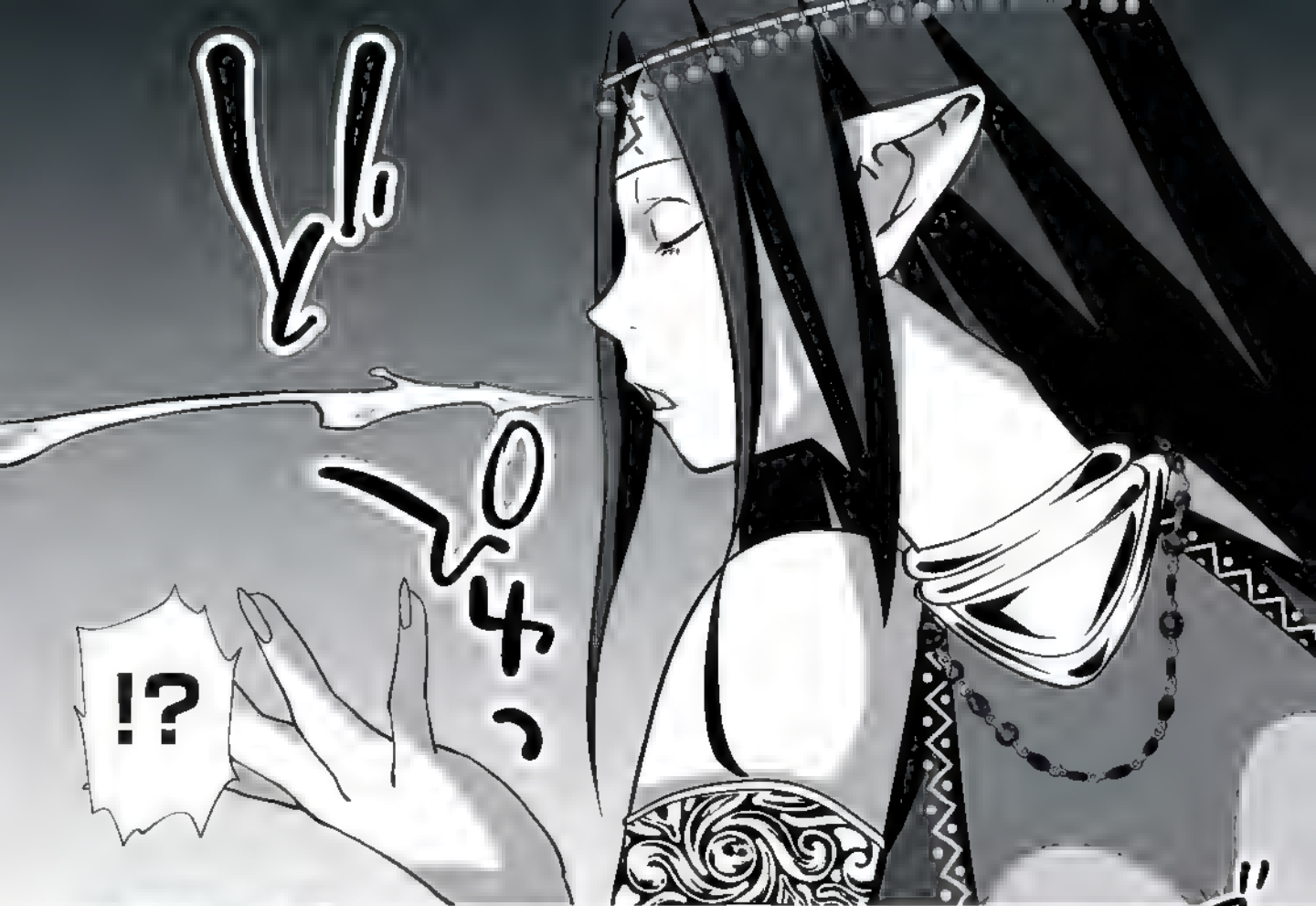
カチ

私の
尻穴よ……

やつを倒すまで
耐えてくれ



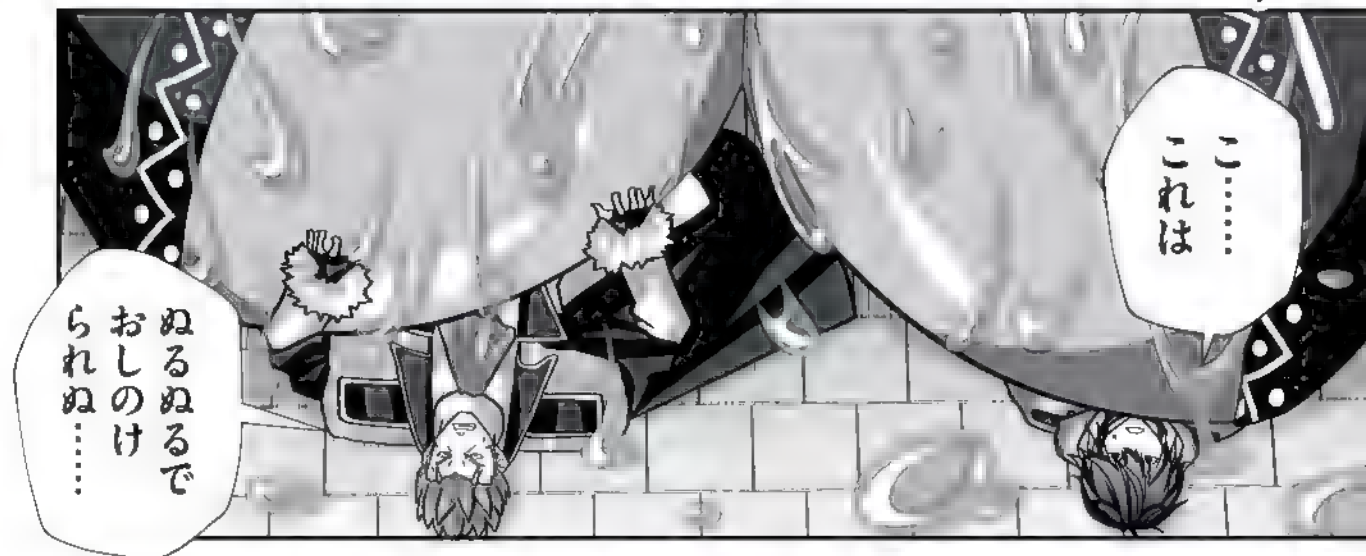




ローションだ！

お







何笑ってるの？

死を前にして
おかしくなったの
かしら？



今更何を
強がつて……

ん？



ま……

まさか今の
ローター
振動数は



今の騎士団長が
全力だとも？

!?

『弱』

弱 中 強

騎士団長は
振動数を上げるたび
感じて力を増す

そして振動を
中と強の2段階も
残している

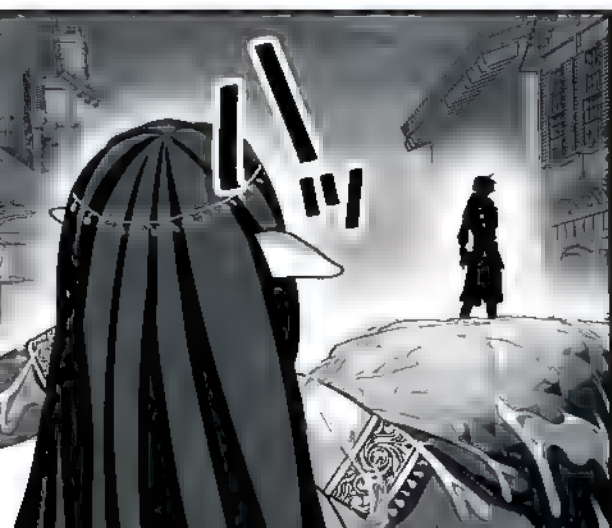
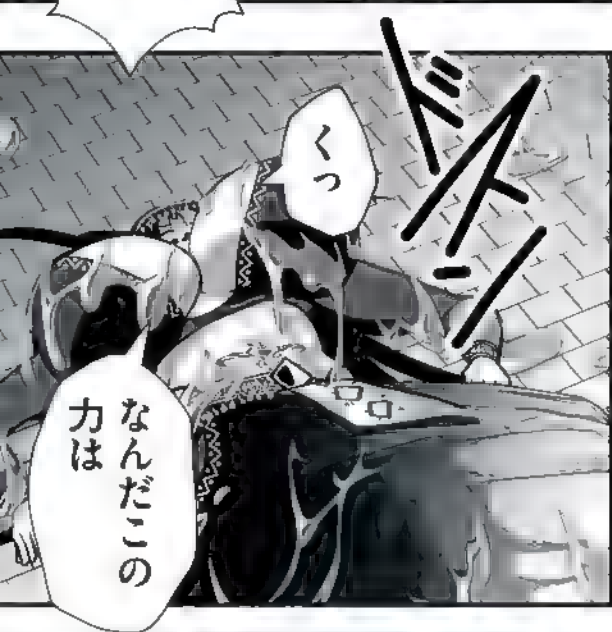
この意味が
わかる？

まずは『中』

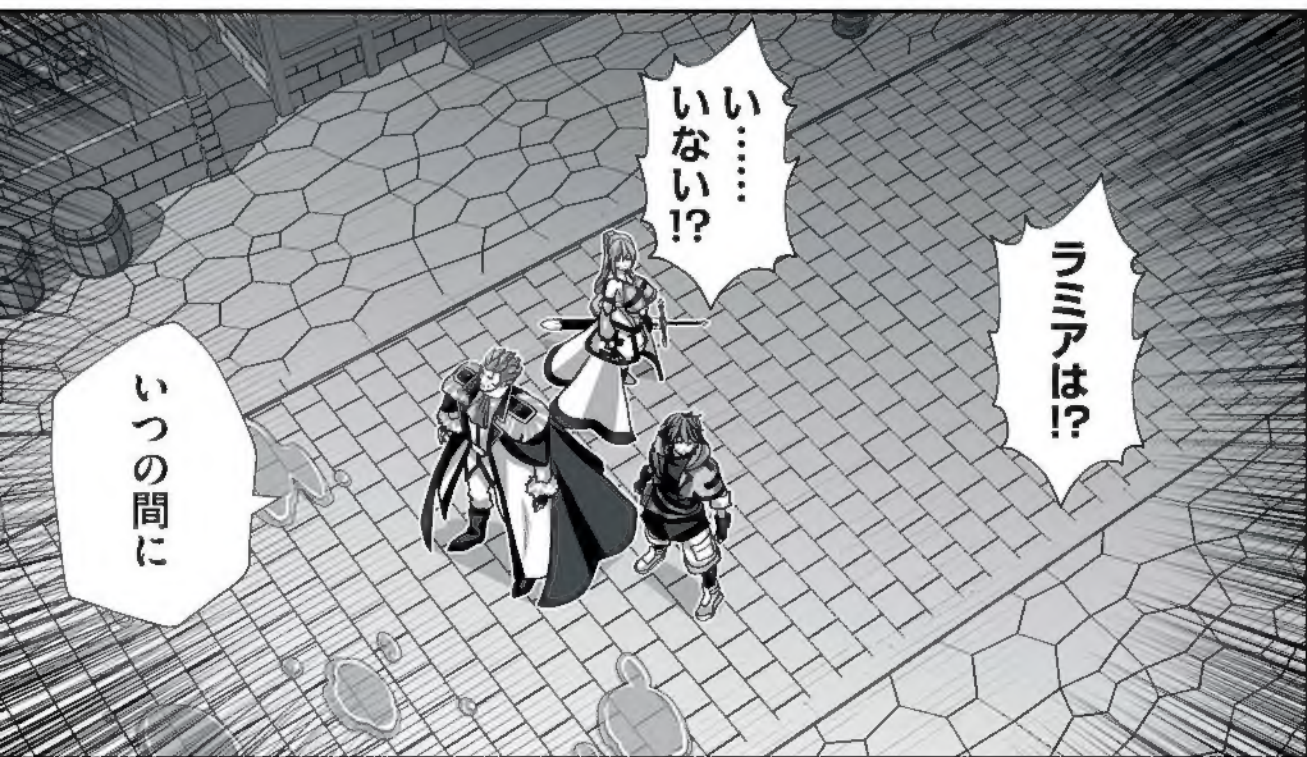
そして
これが

中 強

『強』







何か

嫌な予感がする



はあ

はあ



捜せ！
絶対に
逃がすな

あのラミア
今までの
性欲モンスターと
何か違った

わ……私が
イカされる
なんて

淫紋いんもんも消え
体も縮んで
しまったし

でも何だ
この気持ち
は

もしかして私は
あやつのことを

おやおや

こんなところで
どうしたんですか？

あ……

あ……

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ

ハブルーポーン様！

やれやれ

せっかく淫紋と
ゴブリンを
与えたのに

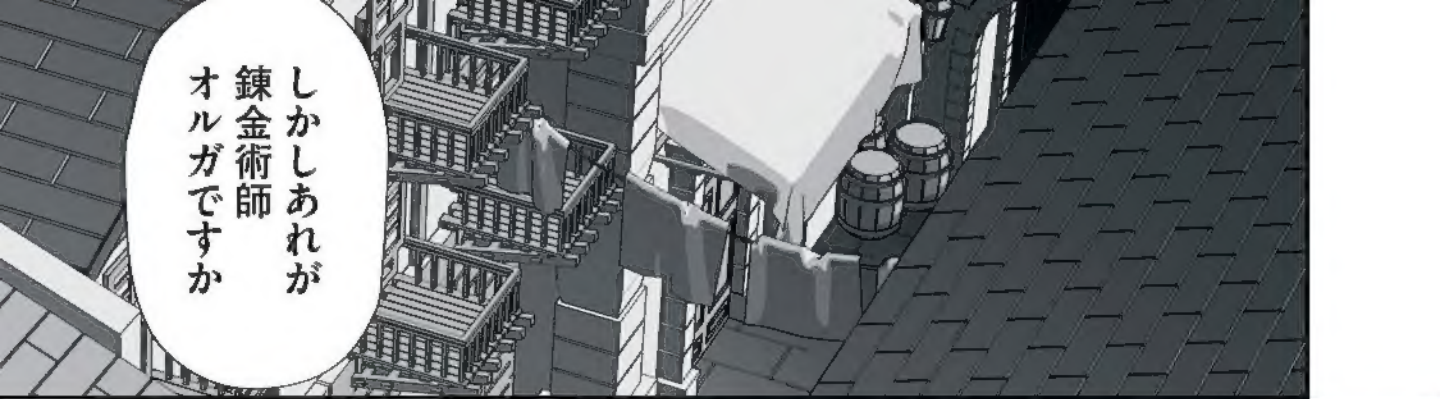
町一つ
落とせないとは

お……
お許しを

^{おび}怯えなくても
大丈夫ですよ

あなたは
ただ

イキ乱れれば
^{みだ}いい



しかしあれが
錬金術師
オルガですか

聞いていた以上に
厄介ですね

確かに我々の
『計画』の邪魔に
なりそうだ

『人類痴漢計画』
の邪魔にね

我々の……

ヒトに忍び寄る魔の手。
ゴッドハンド

次回、オルガをめぐる奪い愛。